

4 包括積算編

第1章 配水管布設工事

第1. 総 則

1. 適用範囲

主体工事が呼び径300mm以下の配水管布設工事及び既設配水管撤去工事において、包括積算方式により施工数量を算定した場合に適用する。

2. 包括工種内訳

工 種 区 分	包 括 内 訳 (工種)	摘 要
管 布 設 工 (管 工 包 括) (m当り)	管布設工（管据付工、管継手工、管切断工、挿口加工工、挿口リング取付工、ポリエチレンスリーブ取付工、明示テープ取付工、埋設標識シート設置工を含む）、制水弁設置工（フランジ継手工、制水弁据付工、弁室類築造工を含む）、消火栓設置工（フランジ継手工、消火栓取付工、弁室類築造工を含む）	口径：75～300mm
管 布 設 工 (管工・土工包括) (m当り)	管布設工（管工包括）、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、再掘削工、一次本復旧工	口径：75～300mm
管 撤 去 工 (管工・土工包括) (m当り)	管撤去工（管切断・小運搬を含む）、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、一次本復旧工	口径：75～300mm
不断水連絡工 (配水管) (箇所当り)	舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、一次本復旧工、矢板工、ポリエチレンスリーブ取付工、不断水連絡工、不断水連絡材料、残留塩素検査	本管口径： 75～300mm 分岐口径： 75～300mm
不断水式仕切弁設置工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、一次本復旧工、矢板工、不断水式仕切弁設置工、不断水式仕切弁材料、弁室類築造工、不断水式仕切弁杭打工	本管口径： 75～300mm
離脱防止金具取付工 (箇所当り)	舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、一次本復旧工、矢板工、ポリエチレンスリーブ取付工、離脱防止金具取付工、離脱防止金具取付材料	口径：75～300mm

工 種 区 分	包 括 内 訳 (工種)	摘 要
洗 浄 排 水 工 (材工共) (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、管布設工（継手含む）、管撤去工、市道仮復旧工、一次本復旧工、管材損料	口径：75～150mm 200～300mm 型工：5－23型 0－10型
フランジ栓止工 (材工共) (箇所当り)	管継手工、弁室類築造工、管材料	口径：75～300mm
仮栓止工 (材工共) (箇所当り)	管継手工、人力木杭打工、管材損料	口径：75～300mm
仮フランジ栓止工 (材工共) (箇所当り)	管継手工、人力木杭打工、管材損料	口径：75～300mm
仮排水（消火）栓止工 (材工共) (箇所当り)	管継手工、人力木杭打工、消火栓設置工、弁室類築造工、管据付工、管撤去工、管材損料	口径：75～300mm
給水管布設工 (道路部) (m当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、給水管布設工、給水管材料（金属類を除く）、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事 口径：13～200mm
給水管布設工 (宅内) (m当り)	舗装切断工、舗装版破碎（障害有り）、人力掘削工、人力埋戻工、舗装残滓等処分工、給水管布設工、給水管材料（金属類を除く）、宅内モルタル復旧工、宅内タイル復旧工	接合替工事 口径：13～75mm
給水管撤去工 (m当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、管撤去工（管切断、小運搬含む）、ビニル管等処分工、一次本復旧工	接合替工事 口径：13～300mm
分水栓取付工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、分水栓取付工、分水栓取付材料、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事 分水栓・サドル 付分水栓
不断水連絡工 【接合替】 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、不断水連絡工、割T字管取付材料、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事 分岐口径 40～50mm

工 種 区 分	包 括 内 訳 (工種)	摘 要
分水栓栓止工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、分水栓栓止工、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事 分水栓・サドル付分水栓
割T字管撤去工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、割T字管撤去工、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事 口径：75～400mm
フランジ栓止工 【接合替】 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、フランジ栓止工、ポリエチレンスリーブ取付工、一次本復旧工	接合替工事 口径：50mm
パイプエンド設置工 (材工共) 【接合替】 (箇所当り)	ポリエチレン管継手工、ポリエチレン管用金属継手パイプエンド材料	接合替工事 口径：25～50mm
仮管分岐工【～φ50】 仮管分岐設置撤去工【φ75～】 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、市道仮復旧工、矢板工、不断水連絡工、仮管分岐材料、弁室類築造工、仮管撤去工	仮管工事 分岐口径： 40～150mm
仮管布設撤去工 (m当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、市道仮復旧工、給水管布設工、給水管撤去工、一次本復旧工、ビニル管処分工	仮管工事 口径：25～150mm
仮接合替工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、市道仮復旧工、一次本復旧工、給水管布設工、給水管撤去工、ビニル管処分工、残留塩素検査	仮管工事
仮管消火栓設置撤去工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、市道仮復旧工、一次本復旧工、弁室類築造工、管布設工(継手含む)、消火栓設置撤去工、管撤去工、ビニル管処分工、仮管消火栓材料	仮管工事 口径：75～150mm
仮管排水栓設置撤去工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版直接掘削積込工、舗装残滓等処分工、管路掘削工、残土処分工、管路埋戻工、市道仮復旧工、一次本復旧工、弁室類築造工、管布設工(継手含む)、消火栓設置撤去工、管撤去工、ビニル管処分工、仮管排水栓材料	仮管工事 口径：75～150mm
試験掘工 (箇所当り)	舗装切断工、舗装版破碎(障害有り)、舗装残滓等処分工、人力掘削工、残土処分工、管路埋戻工、矢板工、一次本復旧工	口径：75～300mm

※一次本復旧工に未舗装 (G・U50) は含まない。

3. 包括工種の適用

(1) 共通事項

- ア. 包括工種に含まれる各々の工種については、包括積算編に特段の記載がない限り、「1 積算資料編、2 基礎積算編」に記載の工種の適用を原則とする。
- イ. 道路部における既設舗装構造は、幹線道路車道はA 1 0－5 0、一般道路車道はA 0 8－2 0、歩道はA F 0 3－1 0、未舗装道路の4区分を標準とする。ただし、仮管関連工種については、車道はA 0 8－2 0、歩道はA F 0 3－1 0の2区分とする。また、それぞれの仮復旧状態についても、同一の区分を適用する。
- なお、道路区分の分類は下表を参考として決定すること。

車道		歩道	
幹線道路	一般道路	歩道	未舗装
A 2 0－7 0	A 0 8－3 5	A F 0 3－1 0	G
A 1 5－6 0	A 1 5－2 0	N F 0 9－1 0	U 5 0
A 1 5－4 5	A 0 5－3 0	L F 0 9－1 0	
A 1 0－5 0	A 0 8－2 0	H F 0 9－1 0	
A 0 5－4 5	A 0 5－1 0	R F 0 9－1 0	
C Y 2 5－1 0	N 1 1－2 5	六角平板	
	N 1 1－1 5	C K 1 0－1 5	
	C Y 2 5	C K 1 5－1 5	
		N K 1 1－2 5	
		N K 1 1－1 5	
		A K 0 5－1 5	
		A K 1 0－1 5	

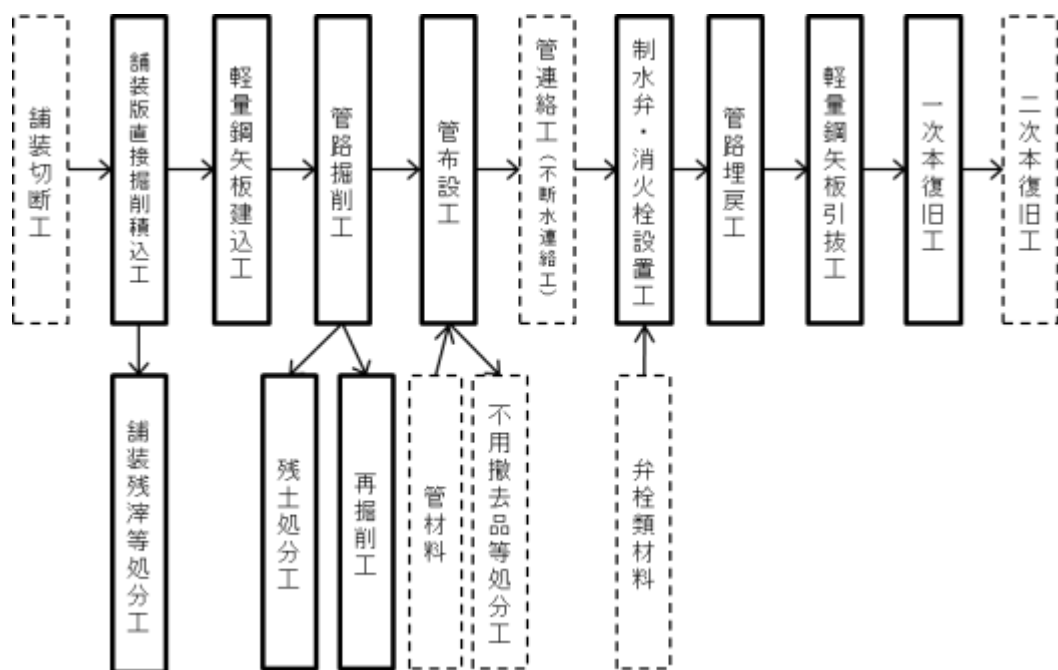
- ウ. 掘削深が1.50mを超える場合は矢板工を計上するものとする。なお、矢板の転用については考慮しないものとする。
- エ. 残土処分工・舗装残滓等処分工における運搬距離は、工事場所を管轄するセンター内の行政区における各区役所から処分地までの平均距離とする。
- オ. 残土処分工については、指定地処分もしくは自由地処分のいずれかを適用する。
- カ. 昼夜区分は行うものとする。
- キ. 給水工事・仮管工事に関連する重機の選定にあたっては、特に指定のない限り、バックホウ0.08m³級及び、ダンプトラック2 t車を使用するものとする。
- ク. 試験掘工事に関連する重機の選定にあたっては、特に指定のない限り、バックホウ0.13 m³級及び、ダンプトラック2 t車を使用するものとする。
- ケ. 包括工種における布設延長及び撤去延長の算定においては、平面延長を使用するものとする。
- コ. 包括工種における道路区分（車道）の上層路盤使用材料については、設計書に記載がない場合「再生粒度調整碎石 RM－2 5」を標準とする。
- サ. ミリ管×インチ管使用時の注意

1. 施工費はミリ管口径にて計上し、材料費はミリ管×インチ管に読み替え必要数量を計上する。
2. 仮管部で150mm×5インチ管を使用する場合、材料費は150mm×6インチ管に読み替える。

(2) 管布設工（管工包括）（管工・土工包括）

- ア. 管布設工の各口径の継手形式は、N S形継手（口径300mmのみ）及びG X形継手の2種類を標準とし、主たる継手形式の路線の中で、一部に異なる継手方式がある場合においても、別途積上げは行わない。また、各継手形式内にはK S継手を含むものとする。
- イ. 管据付工は、ポリエチレンスリーブ取付有り、埋設標識シート設置ありを標準とする。
- ウ. 管継手工は、N S形継手（口径300mmのみ）及びG X形継手を標準とし、直部、異形部、継輪部をそれぞれ計上する。
- エ. 挿口加工工・管切断工は、N S形継手（口径300mmのみ）又はG X形継手を標準とし、管切断・溝切り同時とする。
- オ. 管切断工（管切断のみ）は、鋳鉄管（新管）・K形継手を標準とし、管端面防食工を含むものとする。
- カ. 制水弁設置工は、フランジ継手工、制水弁据付工及び弁室類築造工を含むものとし、制水弁据付工は鋳鉄製制水弁据付工、弁室類築造工はレジンコンクリートブロック使用を標準とする。
- キ. 消火栓設置工は、フランジ継手工、消火栓取付工及び弁室類築造工を含むものとし、弁室類築造工はレジンコンクリートブロック使用を標準とする。なお、排水栓設置については消火栓設置工に含むものとする。
- ク. 空気弁の取付は、別途積上げるものとする。
- ケ. 重機選定については、掘削幅の変化毎に選定するものとし、路線単位の固定は行わない。
- コ. 矢板工は掘削深に応じ、適切な種別を選択すること。なお、掘削深は土被に管外径を加算したものとする。
- サ. G X形における管継手工については、P-Link、G-Linkによる接合は行わないことを標準とする。（P-Link、G-Linkを局所的に用いる場合においても、別途積み上げは行わない）
- シ. 埋戻工及び再掘削工は改良土使用を標準とする。
- ス. 掘削幅の算定にあたっては、直管部を標準とする。

セ. 施工フロー（管工・土工包括）は下記を標準とする。



(注)

1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。
2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

ソ. 標準数量表（管工包括）

(10m当り)

工種名称	単位	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
		G X形	G X形	G X形	G X形	N S形	G X形
管 布 設 工							
管 据 付 工	m	10	10	10	10	10	10
挿口加工工・管切断工	口	1.14	1.21	1.26	1.34	1.21	1.21
管 継 手 工 （ 直 部 ）	箇所	2.33	2.29	1.89	1.98	2.02	2.02
管継手工（N S形異形部）	箇所	-	-	-	-	2.18	-
管継手工（G X形異形部）	箇所	2.29	2.59	2.63	2.76	-	2.43
管 継 手 工 （ 継 輪 部 ）	箇所	-	-	-	-	0.11	-
管切断工（管切断のみ）	口	0.35	0.16	0.31	0.17	0.15	0.15
管 継 手 工 （ K S 継 手 ）	箇所	0.69	0.48	0.93	0.43	0.53	0.53
制 水 弁 設 置 工							
フ ラ ン ジ 継 手 工	箇所	0.16	0.13	0.15	0.08	0.27	0.13
制 水 弁 据 付 工	箇所	0.35	0.21	0.21	0.13	0.14	0.14
弁 室 類 築 造 工	箇所	0.33	0.20	0.23	0.14	0.15	0.15
消 火 栓 設 置 工							
消 火 栓 取 付 工	箇所	0.04	0.06	0.08	0.08	0.09	0.09
フ ラ ン ジ 継 手 工	箇所	0.05	0.07	0.08	0.10	0.08	0.08
弁 室 類 築 造 工	箇所	0.04	0.06	0.08	0.07	0.09	0.09

タ．標準数量表（管工・土工包括）

（10m当り）

工種名称	単位	数量	
管 布 設 工（管 工 包 括）	m	10.00	
舗 装 版 直 接 掘 削 積 込 工	m ²	掘削幅×10.00	①
管 路 掘 削 工	m ³	①×（土被+管外径 ^{※2} －舗装版厚）	②
管 路 埋 戻 工	m ³	①×（土被+管外径 ^{※2} －一次復旧厚）－管体体積	
舗装残滓等処分工（A s）	m ³	①×既設舗装版厚	
舗装残滓等処分工（路盤廃材）	m ³	①×既設路盤厚	③
残 土 処 分 工	m ³	②－③	
一 次 本 復 旧 工	m ²	①	
矢板工（設置・撤去） ^{※1}	m	20.00	
再掘削工	箇所	チ．参照	

※1 矢板工は、掘削深が1.50mを超える場合に計上する。

※2 管外径は、小数第3位までとし第4位を四捨五入する。

（注） 各工種の計算結果は、小数第2位までとし第3位四捨五入とする。

チ．標準数量表（再掘削工）

（10m当り）

工種名称	単位	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
		G X形	G X形	G X形	G X形	N S形	G X形
再 掘 削 工							
矢板なし	箇所	0.41	0.42	0.43	0.47	0.56	0.51
矢板あり	箇所	0.54	0.55	0.53	0.56	0.61	0.59

（3） 管撤去工（管工・土工包括）

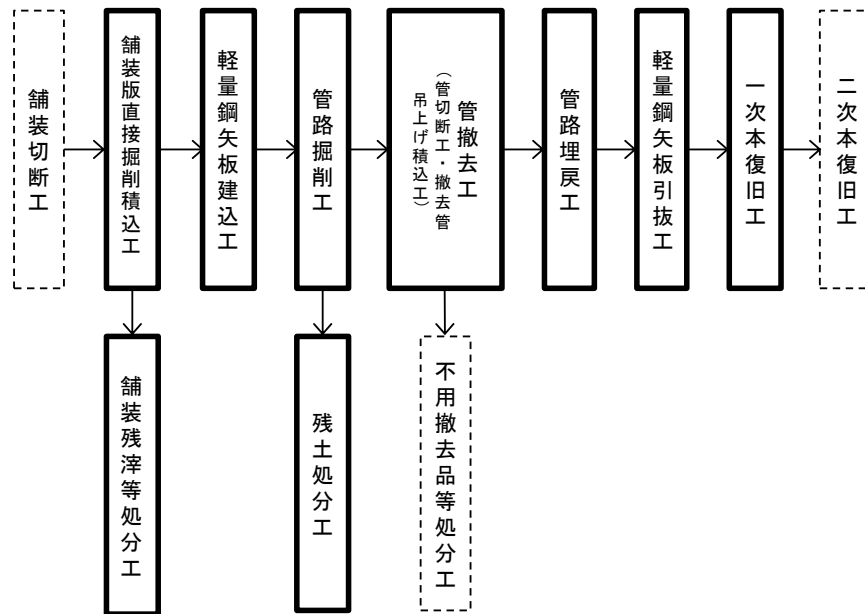
ア．撤去管の管種については、铸铁管（F C）を標準とする。

イ．重機選定については、掘削幅の変化毎に選定するものとし、路線単位の固定は行わない。

ウ．矢板工は掘削深に応じ、適切な種別を選択すること。なお、掘削深は土被に管外径の1/2を加算したものとする。

エ．埋戻工は改良土使用を標準とする。

オ．施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ．標準数量表

(10m当り)

工種名称	単位	数量	
管撤去工（管切断・小運搬含む）	m	10.00	
舗装版直接掘削積込工	m ²	掘削幅×10.00	①
管路掘削工	m ³	①×（土被+管外径/2 ^{※2} －舗装版厚）－管体体積/2	②
管路埋戻工	m ³	①×（土被+管外径/2 ^{※2} －一次復旧厚）+管体体積/2	
舗装残滓等処分工（As）	m ³	①×既設舗装版厚	
舗装残滓等処分工（路盤廃材）	m ³	①×既設路盤厚	③
残土処分工	m ³	②－③	
一次本復旧工	m ²	①	
矢板工（設置・撤去） ^{※1}	m	20.00	

※1 矢板工は、掘削深が1.50mを超える場合に計上する。

※2 管外径/2は、小数第3位までとし第4位四捨五入する。

(注) 各工種の計算結果は、小数第2位までとし第3位四捨五入する。

(参考)

口径 (mm)	管外径 (mm)	10m当り管体 体積(m ³)	1/2管体体積 (m ³)	掘削幅※ ¹ (m)
75	93.0	0.07	0.04	0.55(0.85)
100	118.0	0.11	0.06	0.65(0.85)
125	143.0	0.16	0.08	0.65(0.85)
150	169.0	0.22	0.11	0.70(0.85)
200	220.0	0.38	0.19	0.75(0.85)
300	322.8	0.82	0.41	0.85(0.90)
※1 掘削幅の()は矢板ありの場合に適用する。				

(4) 不断水連絡工(配水管)

ア. 不断水連絡工(配水管)は、既設配水管より不断水工法において分岐を行う工事に適用する。

イ. 重機選定については、下表を標準とする。

分岐口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ300
積算重機	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.28m ³ －4t	0.45m ³ －10t

※表中の積算重機は「バックホウ(クローラ型)ーダンプトラック」を示す。

ウ. 不断水分岐材料(割T字管、防食コア)については見積によるものとし、管材費として取り扱う。ただし、割T字管のφ300×300 分岐及び耐震形割T字管の全口径については、材工管理費共の見積によるものとし、共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。

エ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

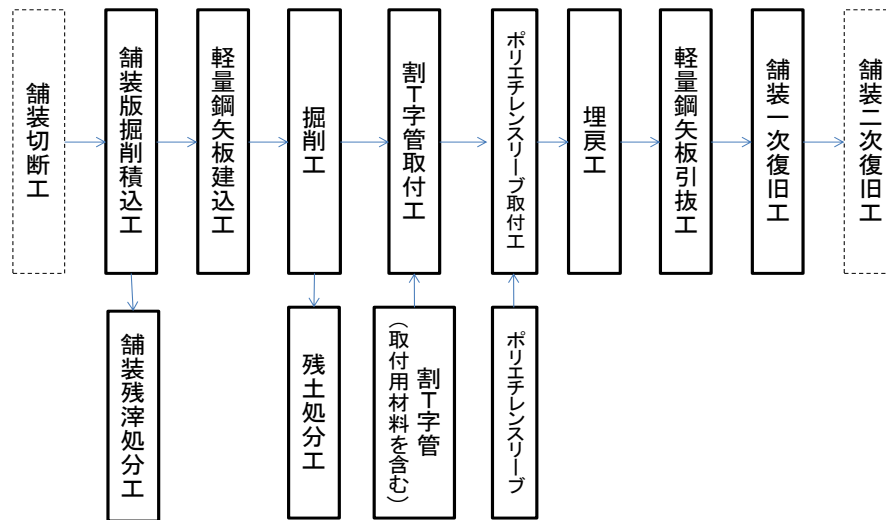
オ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

カ. 防食コアは下表のとおり計上する。

分岐口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ300
防食コア	○	○	○	×	×

※○：計上あり、×：計上なし

キ．施工フローは下記を標準とする。



(注) 1．本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2．その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

ク．標準数量表（割T字管）

φ75×75, φ100×75, φ100×100, φ150×75, φ150×100, φ150×150（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.90	0.90	0.90	－
管路掘削工		m ³	1.23	1.07	1.11	1.14
管路埋戻工	改良土	m ³	0.78	0.89	1.07	1.05
残土処分工		m ³	0.78	0.89	1.02	1.14
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.09	0.07	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.45	0.18	0.09	－
一次本復旧工		m ²	0.90	0.90	0.90	－
不断水連絡工（材工共）		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 75×75, φ 100×75, φ 100×100, φ 150×75, φ 150×100, φ 150×150 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.90	0.90	0.90	－
管路掘削工		m3	1.50	1.52	1.56	1.59
管路埋戻工	改良土	m3	1.05	1.34	1.52	1.50
残土処分工		m3	1.05	1.34	1.47	1.59
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.09	0.07	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.45	0.18	0.09	－
一次本復旧工		m2	0.90	0.90	0.90	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≦0.9	m	3.20			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 200×75 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.32	1.32	1.32	－
管路掘削工		m3	1.78	1.72	1.78	1.82
管路埋戻工	改良土	m3	1.13	1.45	1.72	1.69
残土処分工		m3	1.13	1.45	1.65	1.82
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.13	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.66	0.26	0.13	－
一次本復旧工		m2	1.32	1.32	1.32	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 200×75 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.32	1.32	1.32	－
管路掘削工		m3	2.35	2.38	2.44	2.48
管路埋戻工	改良土	m3	1.69	2.11	2.38	2.35
残土処分工		m3	1.69	2.11	2.31	2.48
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.13	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.66	0.26	0.13	－
一次本復旧工		m2	1.32	1.32	1.32	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≦1.3	m	4.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 200×100, φ 200×150 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.38	1.38	1.38	－
管路掘削工		m3	1.87	1.80	1.87	1.90
管路埋戻工	改良土	m3	1.17	1.51	1.80	1.77
残土処分工		m3	1.17	1.51	1.72	1.90
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.14	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.69	0.28	0.14	－
一次本復旧工		m2	1.38	1.38	1.38	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 200×100, φ 200×150 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.38	1.38	1.38	－
管路掘削工		m3	2.46	2.49	2.56	2.59
管路埋戻工	改良土	m3	1.76	2.20	2.49	2.45
残土処分工		m3	1.76	2.20	2.41	2.59
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.14	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.69	0.28	0.14	－
一次本復旧工		m2	1.38	1.38	1.38	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≦1.3	m	4.10			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 200×200 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.43	1.43	1.43	－
管路掘削工		m3	1.94	1.87	1.94	1.98
管路埋戻工	改良土	m3	1.22	1.58	1.87	1.84
残土処分工		m3	1.22	1.58	1.80	1.98
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.14	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.72	0.29	0.14	－
一次本復旧工		m2	1.43	1.43	1.43	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 200×200 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.43	1.43	1.43	－
管路掘削工		m3	2.55	2.58	2.65	2.70
管路埋戻工	改良土	m3	1.84	2.30	2.58	2.55
残土処分工		m3	1.84	2.30	2.52	2.70
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.14	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.72	0.29	0.14	－
一次本復旧工		m2	1.43	1.43	1.43	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≤1.3	m	4.20			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 300×75, φ 300×100, φ 300×150, φ 300×200, φ 300×300 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.80	1.80	1.80	－
管路掘削工		m3	2.40	2.44	2.53	2.58
管路埋戻工	改良土	m3	1.50	2.08	2.44	2.40
残土処分工		m3	1.50	2.08	2.35	2.58
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.18	0.14	0.05	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.90	0.36	0.18	－
一次本復旧工		m2	1.80	1.80	1.80	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 300×75, φ 300×100, φ 300×150, φ 300×200, φ 300×300 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.80	1.80	1.80	－
管路掘削工		m3	3.43	3.46	3.55	3.61
管路埋戻工	改良土	m3	2.53	3.11	3.46	3.43
残土処分工		m3	2.53	3.11	3.38	3.61
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.18	0.14	0.05	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.90	0.36	0.18	－
一次本復旧工		m2	1.80	1.80	1.80	－
不断水連絡工 (材工共)		箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≤1.8	m	4.80			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

ケ. 標準数量表（耐震形割T字管）

φ75×75, φ100×75, φ100×100（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.85	0.85	0.85	－
管路掘削工		m3	1.17	0.96	1.00	1.03
管路埋戻工	改良土	m3	0.74	0.79	0.96	0.94
残土処分工		m3	0.74	0.79	0.91	1.03
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.09	0.07	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.43	0.17	0.09	－
一次本復旧工		m2	0.85	0.85	0.85	－
不断水連絡工（材工共）	耐震形割T字管	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ75×75, φ100×75, φ100×100（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.85	0.85	0.85	－
管路掘削工		m3	1.37	1.38	1.43	1.45
管路埋戻工	改良土	m3	0.93	1.21	1.38	1.37
残土処分工		m3	0.93	1.21	1.33	1.45
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.09	0.07	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.43	0.17	0.09	－
一次本復旧工		m2	0.85	0.85	0.85	－
不断水連絡工（材工共）	耐震形割T字管	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	3.10			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ150×75, φ150×100, φ150×150, φ200×75, φ200×100, φ200×150（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.95	0.95	0.95	－
管路掘削工		m3	1.30	1.11	1.16	1.19
管路埋戻工	改良土	m3	0.82	0.92	1.11	1.09
残土処分工		m3	0.82	0.92	1.06	1.19
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.10	0.08	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.48	0.19	0.10	－
一次本復旧工		m2	0.95	0.95	0.95	－
不断水連絡工（材工共）	耐震形割T字管	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 150×75, φ 150×100, φ 150×150, φ 200×75, φ 200×100, φ 200×150 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.95	0.95	0.95	－
管路掘削工		m3	1.57	1.59	1.63	1.66
管路埋戻工	改良土	m3	1.08	1.39	1.59	1.57
残土処分工		m3	1.08	1.39	1.53	1.66
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.10	0.08	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.48	0.19	0.10	－
一次本復旧工		m2	0.95	0.95	0.95	－
不断水連絡工 (材工共)	耐震形割 T 字管	箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≦1.3	m	3.30			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 200×200 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.14	1.14	1.14	－
管路掘削工		m3	1.53	1.36	1.42	1.45
管路埋戻工	改良土	m3	0.97	1.13	1.36	1.34
残土処分工		m3	0.97	1.13	1.31	1.45
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.11	0.09	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.57	0.23	0.11	－
一次本復旧工		m2	1.14	1.14	1.14	－
不断水連絡工 (材工共)	耐震形割 T 字管	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 200×200 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.14	1.14	1.14	－
管路掘削工		m3	1.91	1.93	1.99	2.02
管路埋戻工	改良土	m3	1.34	1.70	1.93	1.91
残土処分工		m3	1.34	1.70	1.88	2.02
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.11	0.09	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.57	0.23	0.11	－
一次本復旧工		m2	1.14	1.14	1.14	－
不断水連絡工 (材工共)	耐震形割 T 字管	箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≦1.3	m	3.70			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 300×75, φ 300×100, φ 300×150 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.05	1.05	1.05	－
管路掘削工		m3	1.38	1.33	1.38	1.41
管路埋戻工	改良土	m3	0.84	1.12	1.33	1.31
残土処分工		m3	0.84	1.12	1.27	1.41
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.11	0.08	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.53	0.21	0.11	－
一次本復旧工		m2	1.05	1.05	1.05	－
不断水連絡工 (材工共)	耐震形割T字管	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 300×75, φ 300×100, φ 300×150 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.05	1.05	1.05	－
管路掘削工		m3	1.83	1.85	1.90	1.94
管路埋戻工	改良土	m3	1.30	1.65	1.85	1.83
残土処分工		m3	1.30	1.65	1.80	1.94
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.11	0.08	0.03	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.53	0.21	0.11	－
一次本復旧工		m2	1.05	1.05	1.05	－
不断水連絡工 (材工共)	耐震形割T字管	箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≤1.3	m	3.50			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 300×200 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.43	1.43	1.43	－
管路掘削工		m3	1.89	1.82	1.89	1.93
管路埋戻工	改良土	m3	1.17	1.53	1.82	1.79
残土処分工		m3	1.17	1.53	1.75	1.93
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.14	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.72	0.29	0.14	－
一次本復旧工		m2	1.43	1.43	1.43	－
不断水連絡工 (材工共)	耐震形割T字管	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 300×200 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.43	1.43	1.43	－
管路掘削工		m3	2.50	2.53	2.60	2.65
管路埋戻工	改良土	m3	1.79	2.25	2.53	2.50
残土処分工		m3	1.79	2.25	2.47	2.65
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.14	0.11	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.72	0.29	0.14	－
一次本復旧工		m2	1.43	1.43	1.43	－
不断水連絡工 (材工共)	耐震形割 T 字管	箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≦1.3	m	4.20			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 300×300 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.56	1.56	1.56	－
管路掘削工		m3	2.07	1.99	2.07	2.12
管路埋戻工	改良土	m3	1.28	1.69	1.99	1.96
残土処分工		m3	1.28	1.69	1.91	2.12
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.16	0.12	0.05	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.78	0.31	0.16	－
一次本復旧工		m2	1.56	1.56	1.56	－
不断水連絡工 (材工共)	耐震形割 T 字管	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

φ 300×300 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.56	1.56	1.56	－
管路掘削工		m3	2.74	2.77	2.85	2.90
管路埋戻工	改良土	m3	1.96	2.47	2.77	2.74
残土処分工		m3	1.96	2.47	2.69	2.90
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.16	0.12	0.05	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.78	0.31	0.16	－
一次本復旧工		m2	1.56	1.56	1.56	－
不断水連絡工 (材工共)	耐震形割 T 字管	箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≦1.3	m	4.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.00			
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1			

(5) 不断水式仕切弁設置工

ア. 不断水式仕切弁設置工は、既設配水管において不断水工法により仕切弁設置を行う工事に適用する。

イ. 重機選定については、下表を標準とする。

矢板なし

配水管口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
積算重機	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.28m ³ －4t	0.45m ³ －10t

矢板あり

配水管口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
積算重機	0.45m ³ －10t	0.45m ³ －10t	0.45m ³ －10t	0.45m ³ －10t	0.45m ³ －10t

※表中の積算重機は「バックホウ（クローラ型）－ダンプトラック」を示す。

ウ. 不断水式仕切弁設置工については材工管理費共の見積によるものとし、共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。

エ. 弁室類築造工はレジンコンクリートブロックを標準とする。

オ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

カ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

キ. 不断水式仕切弁杭打工における工種構成について下表を標準とする。

1) 標準数量表

不断水式仕切弁杭打工

(1箇所当り)

工 種	規 格	単 位	数 量	適 用
人力木杭打工		本	2	2) 参照
人力横木組立		本	2	3) 参照
横 木 材 料		本	2	4) 参照
人力鉄線緊結		箇所	4	5) 参照
特殊割押輪取付		箇所	1	
特 殊 割 押 輪		個	1	
計				

2) 人力木杭打工

木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては次表を標準とする。(1本当り)

配水管口径 (mm)	木杭末口 (c m)	根入れ深さ (m)	木杭長さ (m)
75	6	0.6	1.2
100	6	0.6	1.2
150	9	0.7	1.2
200	12	0.9	1.5
300	15	1.0	1.5

3) 人力横木組立

人力横木組立歩掛表

(10本当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	適 用
土木一般世話役		人	0.03	
普通作業員		人	0.14	
諸 雑 費		式	1	労務費の2%
計				

4) 横木材料

横木末口、横木長さについては次表を標準とする。(1本当り)

配水管口径 (mm)	横木末口 (cm)	横木長さ (m)
75	6	0.3
100	6	0.3
150	9	0.3
200	9	0.4
300	15	0.5

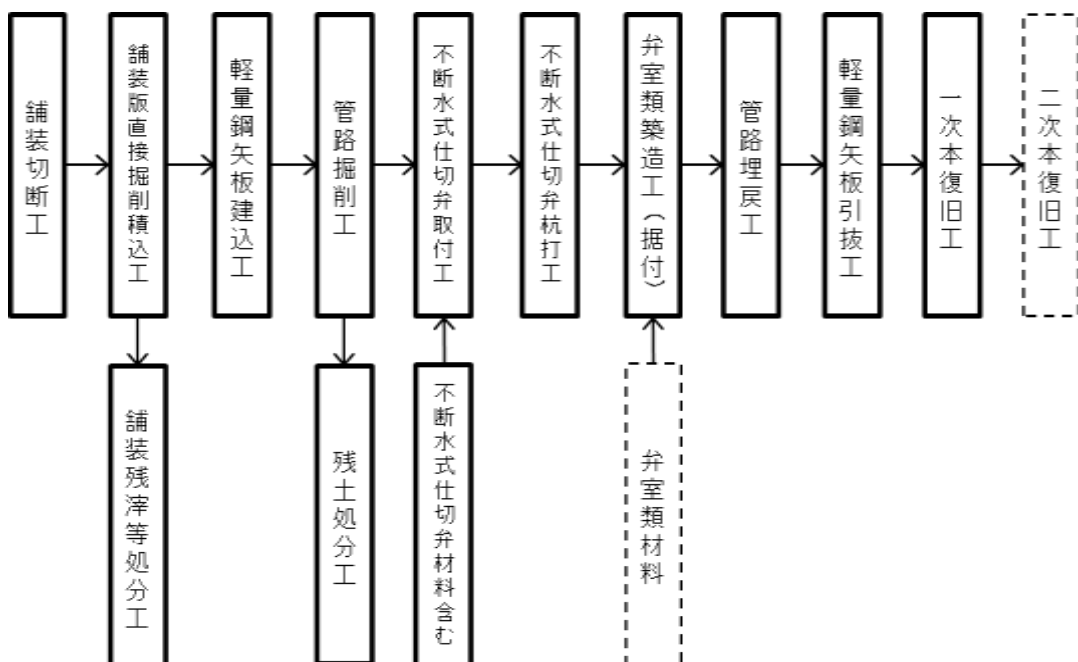
5) 人力鉄線緊結

人力鉄線緊結歩掛表

(100箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	適 用
土木一般世話役		人	0.16	
普通作業員		人	0.77	
諸 雑 費		式	1	労務費の2%
計				

ク. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

ケ．標準数量表

φ75（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	4.80	4.80	4.80	－
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.44	1.44	1.44	－
管路掘削工		m ³	1.78	1.37	1.45	1.49
管路埋戻工	改良土	m ³	1.06	1.09	1.37	1.35
残土処分工		m ³	1.06	1.09	1.30	1.49
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.14	0.12	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.72	0.29	0.14	－
一次本復旧工		m ²	1.44	1.44	1.44	－
不断水式仕切弁設置工	材工管理費共	箇所	1			
弁室類築造工	制水弁室	箇所	1			
不断水式仕切弁杭打工		箇所	1			

φ75（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	6.40	6.40	6.40	－
舗装版直接掘削・積込工		m ²	2.56	2.56	2.56	－
管路掘削工		m ³	3.68	3.73	3.85	3.93
管路埋戻工	改良土	m ³	2.40	3.21	3.73	3.68
残土処分工		m ³	2.40	3.21	3.60	3.93
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.26	0.20	0.08	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	1.28	0.51	0.26	－
一次本復旧工		m ²	2.56	2.56	2.56	－
不断水式仕切弁設置工	材工管理費共	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≦1.8	m	6.40			
弁室類築造工	制水弁室	箇所	1			
不断水式仕切弁杭打工		箇所	1			

φ100（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	4.80	4.80	4.80	－
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.44	1.44	1.44	－
管路掘削工		m ³	1.89	1.48	1.56	1.56
管路埋戻工	改良土	m ³	1.17	1.20	1.48	1.48
残土処分工		m ³	1.17	1.20	1.41	1.41
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.14	0.12	0.04	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.72	0.29	0.14	－
一次本復旧工		m ²	1.44	1.44	1.44	－
不断水式仕切弁設置工	材工管理費共	箇所	1			
弁室類築造工	制水弁室	箇所	1			
不断水式仕切弁杭打工		箇所	1			

φ 100（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	6.40	6.40	6.40	－
舗装版直接掘削・積込工		m ²	2.56	2.56	2.56	－
管路掘削工		m ³	3.87	3.92	4.05	4.13
管路埋戻工	改良土	m ³	2.59	3.41	3.92	3.87
残土処分工		m ³	2.59	3.41	3.80	4.13
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.26	0.20	0.08	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	1.28	0.51	0.26	－
一次本復旧工		m ²	2.56	2.56	2.56	－
不断水式仕切弁設置工	材工管理費共	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 1.8	m	6.40			
弁室類築造工	制水弁室	箇所	1			
不断水式仕切弁杭打工		箇所	1			

φ 150（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	5.00	5.00	5.00	－
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.56	1.56	1.56	－
管路掘削工		m ³	2.11	1.67	1.75	1.80
管路埋戻工	改良土	m ³	1.33	1.36	1.67	1.64
残土処分工		m ³	1.33	1.36	1.59	1.80
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.16	0.12	0.05	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.78	0.31	0.16	－
一次本復旧工		m ²	1.56	1.56	1.56	－
不断水式仕切弁設置工	材工管理費共	箇所	1			
弁室類築造工	制水弁室	箇所	1			
不断水式仕切弁杭打工		箇所	1			

φ 150（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	6.60	6.60	6.60	－
舗装版直接掘削・積込工		m ²	2.72	2.72	2.72	－
管路掘削工		m ³	4.23	4.29	4.42	4.51
管路埋戻工	改良土	m ³	2.87	3.74	4.29	4.23
残土処分工		m ³	2.87	3.74	4.15	4.51
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.27	0.22	0.08	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	1.36	0.54	0.27	－
一次本復旧工		m ²	2.72	2.72	2.72	－
不断水式仕切弁設置工	材工管理費共	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 1.8	m	6.60			
弁室類築造工	制水弁室	箇所	1			
不断水式仕切弁杭打工		箇所	1			

φ 200（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	5.80	5.80	5.80	－
舗装版直接掘削・積込工		m2	2.04	2.04	2.04	－
管路掘削工		m3	2.77	2.26	2.36	2.42
管路埋戻工	改良土	m3	1.75	1.85	2.26	2.22
残土処分工		m3	1.75	1.85	2.16	2.42
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.20	0.16	0.06	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	1.02	0.41	0.20	－
一次本復旧工		m2	2.04	2.04	2.04	－
不断水式仕切弁設置工	材工管理費共	箇所	1			
弁室類築造工	制水弁室	箇所	1			
不断水式仕切弁杭打工		箇所	1			

φ 200（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	7.40	7.40	7.40	－
舗装版直接掘削・積込工		m2	3.36	3.36	3.36	－
管路掘削工		m3	5.36	5.43	5.60	5.70
管路埋戻工	改良土	m3	3.68	4.76	5.43	5.36
残土処分工		m3	3.68	4.76	5.26	5.70
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.34	0.27	0.10	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	1.68	0.67	0.34	－
一次本復旧工		m2	3.36	3.36	3.36	－
不断水式仕切弁設置工	材工管理費共	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≦1.8	m	7.40			
弁室類築造工	制水弁室	箇所	1			
不断水式仕切弁杭打工		箇所	1			

φ 300（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	6.60	6.60	6.60	－
舗装版直接掘削・積込工		m2	2.66	2.66	2.66	－
管路掘削工		m3	3.54	3.41	3.54	3.62
管路埋戻工	改良土	m3	2.21	2.88	3.41	3.36
残土処分工		m3	2.21	2.88	3.28	3.62
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.27	0.21	0.08	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	1.33	0.53	0.27	－
一次本復旧工		m2	2.66	2.66	2.66	－
不断水式仕切弁設置工	材工管理費共	箇所	1			
弁室類築造工	制水弁室	箇所	1			
不断水式仕切弁杭打工		箇所	1			

φ 300（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	8.20	8.20	8.20	－
舗装版直接掘削・積込工		m ²	4.14	4.14	4.14	－
管路掘削工		m ³	7.35	7.43	7.64	7.76
管路埋戻工	改良土	m ³	5.28	6.60	7.43	7.35
残土処分工		m ³	5.28	6.60	7.22	7.76
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.41	0.33	0.12	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	2.07	0.83	0.41	－
一次本復旧工		m ²	4.14	4.14	4.14	－
不断水式仕切弁設置工	材工管理費共	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≦1.8	m	8.20			
弁室構築造工	制水弁室	箇所	1			
不断水式仕切弁杭打工		箇所	1			

（6） 離脱防止金具取付工

ア．離脱防止金具取付工は、既設配水管に耐震補強金具又は継手補強金具を取り付ける工事に適用する。

イ．重機選定については、下表を標準とする。

矢板なし

口径		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
積算重機	A・K形	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.28m ³ －4t	0.45m ³ －10t
	T形	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	0.13m ³ －2t	－

矢板あり

口径		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
積算重機	A・K・T形	0.45m ³ －10t	0.45m ³ －10t	0.45m ³ －10t	0.45m ³ －10t	0.45m ³ －10t

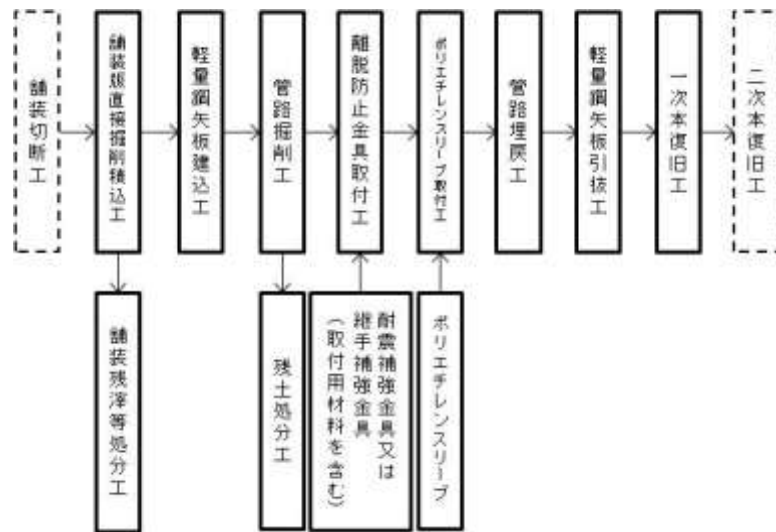
※表中の積算重機は「バックホウ（クローラ型）ーダンプトラック」を示す。

ウ．離脱防止金具取付材料については、管路資材等価格調査によるものとするが、当該調査品目に含まれないものは見積によるものとし、いずれも管材費として取扱う。

エ．埋戻工は改良土使用を標準とする。

オ．矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

カ. 施工フローは下記を標準とする。



キ. 標準数量表 (A・K形)

φ75 (矢板なし)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.50			-
管路掘削工		m3	0.68	0.54	0.56	0.57
管路埋戻工	改良土	m3	0.42	0.43	0.54	0.52
残土処分工		m3	0.42	0.43	0.50	0.57
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.05	0.04	0.02	-
舗装等処分工	路盤廃材	m3	0.25	0.10	0.05	-
一次本復旧工		m2	0.50			-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ75 (矢板あり)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.77			-
管路掘削工		m3	1.20	1.21	1.25	1.27
管路埋戻工	改良土	m3	0.80	1.06	1.21	1.19
残土処分工		m3	0.80	1.06	1.17	1.27
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.39	0.15	0.08	-
一次本復旧工		m2	0.77			-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工 (設置・撤去)	掘削幅 B≤0.9	m	3.50			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ100（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.59			－
管路掘削工		m3	0.80	0.63	0.66	0.67
管路埋戻工	改良土	m3	0.49	0.50	0.63	0.62
残土処分工		m3	0.49	0.50	0.59	0.67
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.30	0.12	0.06	－
一次本復旧工		m2	0.59			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ100（矢板あり）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.77			－
管路掘削工		m3	1.20	1.21	1.25	1.27
管路埋戻工	改良土	m3	0.80	1.06	1.21	1.19
残土処分工		m3	0.80	1.06	1.17	1.27
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.39	0.15	0.08	－
一次本復旧工		m2	0.77			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	3.50			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ150（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.63			－
管路掘削工		m3	0.84	0.67	0.70	0.72
管路埋戻工	改良土	m3	0.53	0.54	0.67	0.65
残土処分工		m3	0.53	0.54	0.64	0.72
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.32	0.13	0.06	－
一次本復旧工		m2	0.63			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ150（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.77			－
管路掘削工		m3	1.19	1.20	1.24	1.26
管路埋戻工	改良土	m3	0.79	1.05	1.20	1.18
残土処分工		m3	0.79	1.05	1.16	1.26
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.39	0.15	0.08	－
一次本復旧工		m2	0.77			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 $B \leq 0.9$	m	3.50			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ200（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.68			－
管路掘削工		m3	0.90	0.71	0.75	0.76
管路埋戻工	改良土	m3	0.55	0.57	0.71	0.69
残土処分工		m3	0.55	0.57	0.67	0.76
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.07	0.05	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.34	0.14	0.07	－
一次本復旧工		m2	0.68			－
離脱防止金具取付工（材工共）	金具耐震補強/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ200（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.77			－
管路掘削工		m3	1.18	1.19	1.23	1.25
管路埋戻工	改良土	m3	0.78	1.04	1.19	1.17
残土処分工		m3	0.78	1.04	1.15	1.25
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.39	0.15	0.08	－
一次本復旧工		m2	0.77			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 $B \leq 0.9$	m	3.50			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 300（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.77			－
管路掘削工		m3	0.98	0.77	0.81	0.83
管路埋戻工	改良土	m3	0.58	0.62	0.77	0.75
残土処分工		m3	0.58	0.62	0.73	0.83
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.39	0.15	0.08	－
一次本復旧工		m2	0.77			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 300（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.81			－
管路掘削工		m3	1.20	1.22	1.26	1.28
管路埋戻工	改良土	m3	0.79	1.06	1.22	1.20
残土処分工		m3	0.79	1.06	1.18	1.28
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.41	0.16	0.08	－
一次本復旧工		m2	0.81			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	3.60			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

ク．標準数量表（T形）

φ 75（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.39			－
管路掘削工		m3	0.53	0.43	0.44	0.45
管路埋戻工	改良土	m3	0.33	0.34	0.43	0.41
残土処分工		m3	0.33	0.34	0.40	0.45
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.20	0.08	0.04	－
一次本復旧工		m2	0.39			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 75（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.60			－
管路掘削工		m3	0.94	0.95	0.98	0.99
管路埋戻工	改良土	m3	0.63	0.82	0.95	0.93
残土処分工		m3	0.63	0.82	0.91	0.99
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.30	0.12	0.06	－
一次本復旧工		m2	0.60			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	3.10			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 100（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.39			－
管路掘削工		m3	0.52	0.42	0.43	0.44
管路埋戻工	改良土	m3	0.32	0.33	0.42	0.40
残土処分工		m3	0.32	0.33	0.39	0.44
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.20	0.08	0.04	－
一次本復旧工		m2	0.39			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 100（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.60			－
管路掘削工		m3	0.93	0.94	0.97	0.98
管路埋戻工	改良土	m3	0.62	0.81	0.94	0.92
残土処分工		m3	0.62	0.81	0.90	0.98
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.30	0.12	0.06	－
一次本復旧工		m2	0.60			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	3.10			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 150（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.39			－
管路掘削工		m3	0.51	0.41	0.42	0.43
管路埋戻工	改良土	m3	0.31	0.32	0.41	0.39
残土処分工		m3	0.31	0.32	0.38	0.43
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.20	0.08	0.04	－
一次本復旧工		m2	0.39			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 150（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.60			－
管路掘削工		m3	0.92	0.93	0.96	0.97
管路埋戻工	改良土	m3	0.61	0.80	0.93	0.91
残土処分工		m3	0.61	0.80	0.89	0.97
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.30	0.12	0.06	－
一次本復旧工		m2	0.60			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	3.10			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 200（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.39			－
管路掘削工		m3	0.50	0.40	0.41	0.42
管路埋戻工	改良土	m3	0.30	0.31	0.40	0.38
残土処分工		m3	0.30	0.31	0.37	0.42
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.20	0.08	0.04	－
一次本復旧工		m2	0.39			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

φ 200（矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.60			－
管路掘削工		m3	0.91	0.92	0.95	0.96
管路埋戻工	改良土	m3	0.60	0.79	0.92	0.90
残土処分工		m3	0.60	0.79	0.88	0.96
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	－
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.30	0.12	0.06	－
一次本復旧工		m2	0.60			－
離脱防止金具取付工（材工共）	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1			
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B≤0.9	m	3.10			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50			

ケ．離脱防止金具取付歩掛表

（1 箇所当り）

口径（mm）	配管工（人）	普通作業員（人）	諸雑費
75	0.02	—	労務費の1%
100			
150			
200			
300		0.02	

(7) 洗浄排水工 (材工共)

ア. 本工種は、φ 300mm以下の新設布設管の洗浄排水に必要となる排水管の設置・撤去に適用する。

イ. 既設舗装構造は、A08-20又は、砂利道 (0-10) の2区分とし、一次本復旧時における舗装構造は、それぞれ05-23型工、及び0-10型工とする。

ウ. バックホウの機種は山積0.13m³とする。

エ. 管材料は請負者調達とし、償却回数は管類60回、継手類は30回とする。

オ. 標準数量表 (1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	φ 75～φ 150		φ 200～φ 300	
			A08-20	砂利道	A08-20	砂利道
舗装切断工	As t=15cm 以下	m	10.80	—	10.80	—
舗装版直接掘削・積込工	As t=10cm 以下	m ²	5.94	—	7.02	—
管路掘削工		m ³	5.02	5.41	6.07	6.53
管路埋戻工	改良土	m ³	2.02	2.51	2.43	3.05
管路埋戻工	流用土	m ³	1.84	2.67	2.26	3.25
残土処分工		m ³	2.00	2.79	2.41	3.37
管布設工	φ 200	m	—	—	0.56	0.56
管布設工	φ 100	m	—	—	5.15	5.15
管布設工	φ 75	m	5.71	5.71	—	—
管撤去工	φ 200	m	—	—	0.56	0.56
管撤去工	φ 100	m	—	—	5.15	5.15
管撤去工	φ 75	m	5.71	5.71	—	—
市道仮復旧工		m ²	2.97	—	3.51	—
一次本復旧工	05-23	m ²	2.97	—	3.51	—
舗装残滓等処分工	アスファルト殻	m ³	0.39	—	0.46	—
舗装残滓等処分工	路盤廢材	m ³	1.18	—	1.40	—
管材料	直管 φ 100 (75)	k g	1.18	1.18	1.33	1.33
管材料	異形管 φ 200	k g	—	—	0.50	0.50
管材料	異形管 φ 100	k g	—	—	1.40	1.40
管材料	異形管 φ 75	k g	1.10	1.10	—	—
管材料	仕切弁 φ 100 (75)	個	0.02	0.02	0.02	0.02
管材料	継手材 K s φ 200	組	—	—	0.03	0.03
管材料	継手材 K s φ 100 (75)	組	0.20	0.20	0.20	0.20
管材料	継手材 F φ 100 (75)	組	0.07	0.07	0.07	0.07

※形質寸法欄の () 内は φ 75～φ 150の場合を示す。

(8) フランジ栓止工 (材工共)

ア. 管継手工、継手離脱工

継手形式については、F形継手工 (F形継手離脱工) 1箇所とする。

イ. 弁室類築造工

制水弁室の据付・撤去を1箇所とする。

ウ. 標準数量表

(1箇所当り)

工種／資材名称	単位	数量					備考
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
F形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
F形継手離脱工	箇所	1	1	1	1	1	
弁室類築造工 (据付・撤去)	箇所	1	1	1	1	1	在来品使用※3
DフランジふたGF形	個	1	1	1	1	1	
GFガスケット	枚	1	1	1	1	1	
T頭ボルトナット フランジ用異形 フッソ加工※1	本	4	4	6	8	－	
Dフランジボルトナット フッソ加工※2	本	－	－	－	－	10	

※1 : M16×75とする。

※2 : M20×85とする。

※3 : 新品使用とする場合は、弁室材料を別途計上する。

(9) 仮栓止工 (材工共)

ア. 管継手工

継手形式については、K形継手工1箇所、KS形継手工1箇所とする。

イ. 人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、次表を標準とする。

配水管口径 (mm)	使用本数 (本)	木杭末口 (cm)	根入れ深さ (m)	木杭長さ (m)
75	1	6	1.0	1.2
100	1	9	1.0	1.2
150	1	12	1.3	1.8
200	1	15	1.6	1.8
300	2	15	1.6	1.8

ウ．標準数量表

(1 箇所当り)

工種／資材名称	単位	数量					備考
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
K形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
K S形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
人力木杭打工	本	1	1	1	1	2	
D K継輪	個	1	1	1	1	1	3 回償却
D K栓	個	1	1	1	1	1	3 回償却
K離脱防止押輪	個	1	1	1	1	1	3 回償却
T頭ボルトナット (K・K F型用) ※	本	8	8	12	12	16	3 回償却
Kゴム輪	個	2	2	2	2	2	

※ φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150・φ 200 : M20×100、φ 300 : M20×110とする。

(注) 1. 備考欄に3回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の1／3とする。

(10) 仮フランジ栓止工 (材工共)

ア．管継手工

継手形式については、F形継手工1箇所とする。

イ．人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、「(9)仮栓止工 (材工共) イ．人力木杭打工」の表によるものとする。

ウ．標準数量表

(1 箇所当り)

工種／資材名称	単位	数量					備考
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
F形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
人力木杭打工	本	1	1	1	1	2	
DフランジふたG F形	個	1	1	1	1	1	3 回償却
G Fガasket	枚	1	1	1	1	1	
T頭ボルトナット フランジ用異形※1	本	4	4	6	8	－	3 回償却
Dフランジボルトナット フッソ加工※2	本	－	－	－	－	10	3 回償却

※ 1 : M16×75とする。

※ 2 : M20×85とする。

注) 備考欄に3回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の1／3とする。

(11) 仮排水（消火）栓止工（材工共）

ア. 管継手工

継手形式については、K形継手工1箇所、KS形継手工2箇所とする。

イ. 人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、「(9)仮栓止工（材工共）イ. 人力木杭打工」の表によるものとする。

ウ. 標準数量表

(1箇所当り)

名称	形質寸法	単位	数量				
			φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
K形継手工		箇所	1	1	1	1	1
KS形継手工		箇所	2	2	2	2	2
人力木杭打工		本	1	1	1	1	2
消火栓設置工	設置	箇所	1	1	1	1	1
F形継手工		箇所	1	1	1	1	1
弁室類築造工	設置	箇所	1	1	1	1	1
管据付工(小運搬含む)		m	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
管撤去工(管切断 小運搬含む)		m	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
仮排水(消火)栓止材料		式	1	1	1	1	1

エ. 標準材料表

(ア) 仮排水栓

(1箇所当り)

資材名称	単位	数量				
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
DK継輪	個	1	1	1	1	1
DK栓	個	1	1	1	1	1
K離脱防止押輪	個	2	2	2	2	2
T頭ボルトナット (K・KF形用) ※1	本	12	12	18	18	24
Kゴム輪	個	3	3	3	3	3
DKフランジ付きT字管GF形	個	1	1	1	1	1
消火栓	個	1				
DKフランジ短管 RF・GF形	個	1				
T頭ボルトナットフランジ用異形※2	本	8				
GFガスケット	個	2				
排水栓鉄蓋	個	1				
調整リング	個	2				
レジンコンクリート上部壁 (A)	個	1				
レジンコンクリート下部壁 (C)	個	1				
レジンコンクリート底版 (P)	個	1				

※1 : φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150・φ 200 : M20×100、φ 300 : M20×110とする。

※2 : φ 75～φ 300 : M16×75とする。

(注) 1. 弁室類築造使用材料については、土木工事共通仕様書（標準図集）参照

(注) 2. Kゴム輪・GFガスケット以外については3回償却とし、基礎単価の1/3とする。

(イ) 仮消火栓

(1 箇所当り)

資材名称	単位	数量				
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
DK継輪	個	1	1	1	1	1
DK栓	個	1	1	1	1	1
K離脱防止押輪	個	2	2	2	2	2
T頭ボルトナット (K・KF形用) ※1	本	12	12	18	18	24
Kゴム輪	個	3	3	3	3	3
DKフランジ付きT字管GF形	個	1	1	1	1	1
消火栓	個	1				
DKフランジ短管 RF・GF形	個	1				
T頭ボルトナットフランジ用異形※2	本	8				
GFガスケット	個	2				
円形消火栓鉄蓋(単口)本体	枚	1				
円形消火栓鉄蓋(単口)ボルトナット	組	1				
調整リング	個	2				
レジンコンクリート上部壁(A)	個	1				
レジンコンクリート下部壁(C)	個	1				
レジンコンクリート底版(P)	個	1				

※1 : φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150・φ 200 : M20×100、φ 300 : M20×110とする。

※2 : φ 75～φ 300 : M16×75とする。

(注) 1. 弁室類築造使用材料については、土木工事共通仕様書(標準図集)参照

(注) 2. Kゴム輪・GFガスケット以外については3回償却とし、基礎単価の1/3とする。

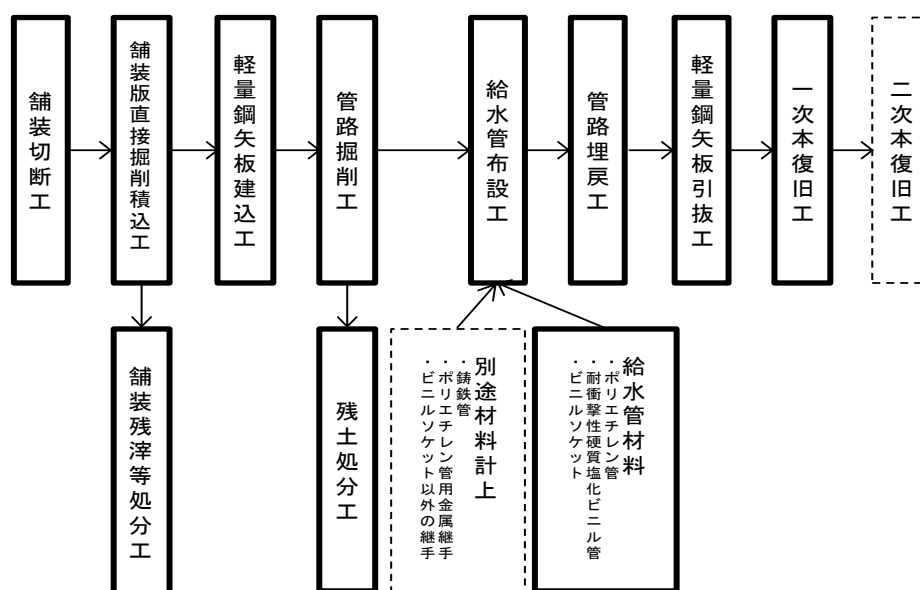
(12) 給水管布設工 (道路部)

ア. 給水管材料について、ビニル管材料、ポリエチレン管 (管のみ) については、工種に包含するものとし、ポリエチレン管用金属継手、鋳鉄管等の金属製材料については別途計上するものとする。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板 I 型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

ウ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表 (ビニル管、ポリエチレン管・矢板なし)

(10m 当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	5.50			—
管路掘削工		m ³	4.62	3.08	3.36	3.52
管路埋戻工	改良土	m ³	1.87	1.98	3.08	3.52
残土処分工		m ³	1.87	1.98	2.80	3.52
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.55	0.44	0.17	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	2.75	1.10	0.55	—
一次本復旧工		m ²	5.50			—
給水管布設工	ビニル管／ポリエチレン管	m	10.00			
給水管材料		m	10.00			

カ. 標準数量表（ビニル管、ポリエチレン管・矢板あり）

（10m当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	8.50			—
管路掘削工		m ³	11.90	12.07	12.50	12.75
管路埋戻工	改良土	m ³	7.65	10.37	12.07	12.75
残土処分工		m ³	7.65	10.37	11.64	12.75
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.85	0.68	0.26	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	4.25	1.70	0.85	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00			
一次本復旧工		m ²	8.50			—
給水管布設工	ビニル管／ポリエチレン管	m	10.00			
給水管材料		m	10.00			

キ. 標準数量表（铸铁管・矢板なし）

（10m当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	5.50			—
管路掘削工		m ³	4.90	3.36	3.63	3.80
管路埋戻工	改良土	m ³	2.08	2.19	3.29	3.77
残土処分工		m ³	2.15	2.26	3.08	3.80
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.55	0.44	0.17	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	2.75	1.10	0.55	—
一次本復旧工		m ²	5.50			—
給水管布設工	铸铁管	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	10.00			

ク．標準数量表（铸铁管・矢板あり）

（10m当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	8.50			—
管路掘削工		m ³	11.90	12.07	12.50	12.75
管路埋戻工	改良土	m ³	7.59	10.31	12.01	12.72
残土処分工		m ³	7.65	10.37	11.64	12.75
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.85	0.68	0.26	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	4.25	1.70	0.85	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00			
一次本復旧工		m ²	8.50			—
給水管布設工	铸铁管	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	10.00			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	10.00			

給水管布設工（ビニル管）

（10m当り）

工種名称	単位	φ 13	φ 25	φ 40	φ 50	φ 75
硬質塩化ビニル管布設 据付工	m	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
硬質塩化ビニル管布設 TS継手工	箇所	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
硬質塩化ビニル管切断工	口	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00

※TS継手工2箇所につき、1口計上する

給水管布設工（ポリエチレン管）

（10m当り）

工種名称	単位	φ 25	φ 40	φ 50
ポリエチレン管布設工 据付工	m	10.00	10.00	10.00
ポリエチレン管布設工 継手工	口	10.00	10.00	10.00
ポリエチレン管切断工	口	10.00	10.00	10.00

給水管布設工（铸铁管）

（10m当り）

工種名称	単位	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200
管据付工	m	10.00	10.00	10.00	10.00
管継手工（K形継手）	箇所	6.60	6.60	5.20	5.20
管切断工（管切断のみ）	箇所	0.90	0.90	1.00	1.00

ケ．標準材料表

（1m当り）

ビニル管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管：1m HIビニルソケット：1個
ポリエチレン管	ポリエチレン管I種：1m

(参考) 止水栓設置工【接合替】

(1箇所当り)

工種名称	形質寸法	単位	数量	備考
止水栓取付け工	ビニル管・ポリエチレン管	箇所	1	
止水栓材料		式	1	必要数を計上
継手材料	ビニル管／ポリエチレン管	式	1	必要数を計上

(13) 給水管布設工 (宅内)

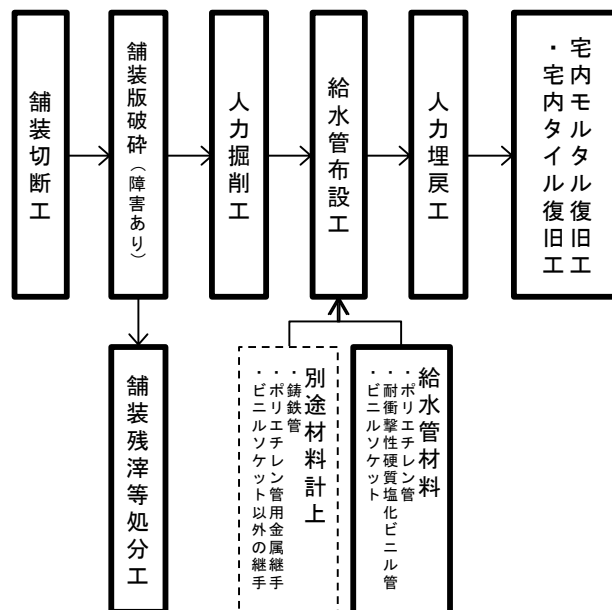
ア. 宅内舗装は、アスファルト、コンクリート、モルタル、一般タイル、モザイクタイル、未舗装の6区分に分類し、原形復旧を標準とする。舗装厚は、モルタルについては3cm、アスファルト、コンクリート、タイル系については5cmを標準とする。

イ. タイル系舗装については、舗装切断工・舗装残滓等処分工の適用にあたっては、コンクリート系とする。

ウ. 工種に包含する材料については、給水管布設工（道路部）に準ずる。

エ. 埋戻工は流用土使用を標準とする。

オ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ．標準数量表

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量		
			As/Co/タイル系	モルタル	未舗装
舗装切断工	アスファルト/コンクリート	m	20.00		—
舗装版破碎	アスファルト障害あり	m ²	3.00		—
人力掘削工		m ³	0.87	0.93	1.02
人力埋戻工	流用土	m ³	0.87	0.93	1.02
舗装残滓等処分工	アスファルト/コンクリート	m ³	0.15	0.09	—
給水管布設工	ビニル管/ポリエチレン管	m	10.00		
給水管材料		m	10.00		
宅内モルタル復旧工 ／宅内タイル復旧工		m ²	3.00		—

(14) 給水管撤去工

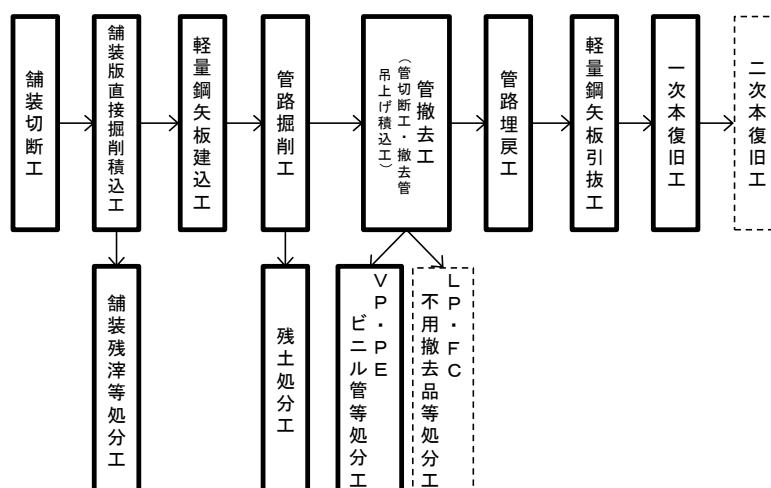
ア．撤去管の管種及び口径区分は、下表から選択する。

管種 (記号)		口径区分	積算口径
①	ビニル管 (V P) ・ ポリエチレン管 (P E)	φ 40 以下	φ 25
		φ 50 以上	φ 50
②	鉛管 (L P)	φ 40 以下	φ 25
		φ 50 以上	φ 50
③	铸铁管 (F C)	φ 75～φ 300	φ 75～φ 300

イ．矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板 I 型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

ウ．埋戻工は改良土使用を標準とする。

エ．施工フローは下記を標準とする。



(注) 1．本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2．その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表（ビニル管、ポリエチレン管、鉛管・矢板なし）

（10m当り）

工種	形質寸法	単位	数量				
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道	土工無
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—	—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	5.50			—	—
管路掘削工		m ³	4.62	3.08	3.36	3.52	—
管路埋戻工	改良土	m ³	1.87	1.98	3.08	3.52	—
残土処分工		m ³	1.87	1.98	2.80	3.52	—
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.55	0.44	0.17	—	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	2.75	1.10	0.55	—	—
一次本復旧工		m ²	5.50			—	—
給水管撤去工（管切断・処分含む）		m	10.00				

カ. 標準数量表（ビニル管、ポリエチレン管、鉛管、矢板あり）

（10m当り）

工種	形質寸法	単位	数量				
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道	土工無
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—	—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	8.50			—	—
管路掘削工		m ³	11.90	12.07	12.50	12.75	—
管路埋戻工	改良土	m ³	7.65	10.37	12.07	12.75	—
残土処分工		m ³	7.65	10.37	11.64	12.75	—
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.85	0.68	0.26	—	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	4.25	1.70	0.85	—	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00				—
一次本復旧工		m ²	8.50			—	—
給水管撤去工（管切断・処分含む）		m	10.00				

キ. 標準数量表（铸铁管、矢板なし）

（10m当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	5.50			—
管路掘削工		m ³	4.65	3.11	3.38	3.55
管路埋戻工	改良土	m ³	1.93	2.04	3.14	3.58
残土処分工		m ³	1.90	2.01	2.83	3.55
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.55	0.44	0.17	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	2.75	1.10	0.55	—
一次本復旧工		m ²	5.50			—
管撤去工（管切断・小運搬含む）	φ 75～φ 300	m	10.00			

ク．標準数量表（铸铁管、矢板あり）

（10m当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	8.50			—
管路掘削工		m ³	11.90	12.07	12.50	12.75
管路埋戻工	改良土	m ³	7.68	10.40	12.10	12.78
残土処分工		m ³	7.65	10.37	11.64	12.75
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.85	0.68	0.26	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	4.25	1.70	0.85	—
一次本復旧工		m ²	8.50			—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	20.00			
管撤去工（管切断・小運搬含む）	φ 75～φ 300	m	10.00			

ケ．給水管撤去工 歩掛表（ビニル管、ポリエチレン管、鉛管）

（1 m当り）

工種	規格	単位	数量
硬質塩化ビニル管布設 据付工		m	0.60
硬質塩化ビニル管切断（既設管撤去）		口	0.167
ビニル管等処分工（運搬費含む）	ビニル管・ポリエチレン管のみ	m	1.00

備考．切断数量は6 m当り 1箇所を標準とする。

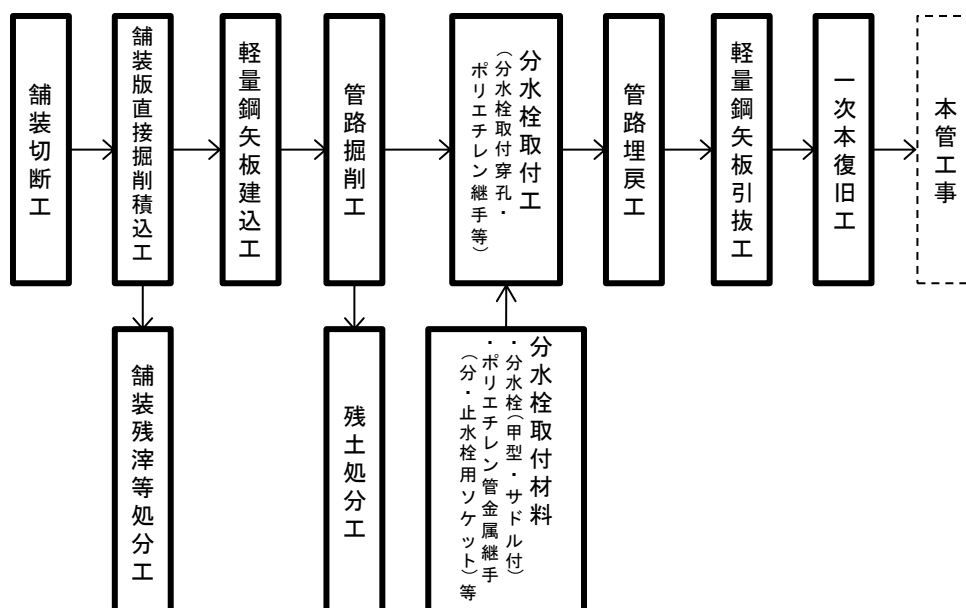
(15) 分水栓取付工、铸铁管用・ビニル管用サドル付分水栓取付工

ア. 甲型分水栓を「分水栓取付工」、铸铁管用・ビニル管用サドル付分水栓を「铸铁管用サドル付分水栓取付工」及び「ビニル管用サドル付分水栓取付工」にそれぞれ分類する。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

ウ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表 (分水栓・矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.45			—
舗装版直接掘削積込工		m ²	0.56			—
管路掘削工		m ³	0.71	0.55	0.58	0.60
管路埋戻工	改良土	m ³	0.43	0.44	0.55	0.60
残土処分工		m ³	0.43	0.45	0.52	0.60
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.06	0.04	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.28	0.11	0.06	—
一次本復旧工		m ²	0.56			—
分水栓取付工		箇所	1			
分水栓取付材料	甲型	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70			

カ. 標準数量表（分水栓・矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.45			—
舗装版直接掘削積込工		m ²	0.68			—
管路掘削工		m ³	1.00	1.01	1.04	1.07
管路埋戻工	改良土	m ³	0.66	0.87	1.01	1.07
残土処分工		m ³	0.66	0.88	0.98	1.07
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.07	0.05	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.34	0.14	0.07	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	2.45			
一次本復旧工		m ²	0.68			—
分水栓取付工		箇所	1			
分水栓取付材料	甲型	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.85			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.85			

キ. 標準数量表（サドル付分水栓・矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.05			—
舗装版直接掘削積込工		m ²	0.42			—
管路掘削工		m ³	0.53	0.41	0.43	0.45
管路埋戻工	改良土	m ³	0.32	0.33	0.41	0.45
残土処分工		m ³	0.33	0.34	0.40	0.45
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.21	0.08	0.04	—
一次本復旧工		m ²	0.42			—
分水栓取付工	鋳鉄管用／ビニル管用	箇所	1			
コア取付工	鋳鉄管用	箇所	1			
分水栓取付材料	鋳鉄管用／ビニル管用	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70			

（注） 1. ビニル管用サドル付分水栓の本管口径はφ75とする。

ク．標準数量表（サドル付分水栓・矢板あり）

（１箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.05			—
舗装版直接掘削積込工		m ²	0.51			—
管路掘削工		m ³	0.75	0.76	0.78	0.80
管路埋戻工	改良土	m ³	0.49	0.66	0.76	0.80
残土処分工		m ³	0.49	0.66	0.73	0.80
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.05	0.04	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.26	0.10	0.05	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	2.05			
一次本復旧工		m ²	0.51			—
分水栓取付工	鋳鉄管用／ビニル管用	箇所	1			
コア取付工	鋳鉄管用	箇所	1			
分水栓取付材料	鋳鉄管用／ビニル管用	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.85			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.85			

（注）１．ビニル管用サドル付分水栓の本管口径はφ75とする。

ケ．標準材料表（分水栓取付材料）

（１箇所当り）

名称	単位	数量					
		分水栓	鋳鉄管用 サドル付分水栓			ビニル管用 サドル付分水栓	
			φ25	φ40	φ50	φ25	φ40
分水栓	個	1	—	—	—	—	—
鋳鉄管用サドル付分水栓	個	—	1	1	1	—	—
ビニル管用サドル付分水栓	個	—	—	—	—	1	1
密着銅コア	個	—	1	1	1	—	—
ポリエチレン管用金属継手(分・止水栓用ソケット)	個	1	1	1	1	1	1
残留塩素検査（DPD 試薬）	箇所	1					
給水管表示ピン	本	1					

(16) 不断水連絡工（接合替）

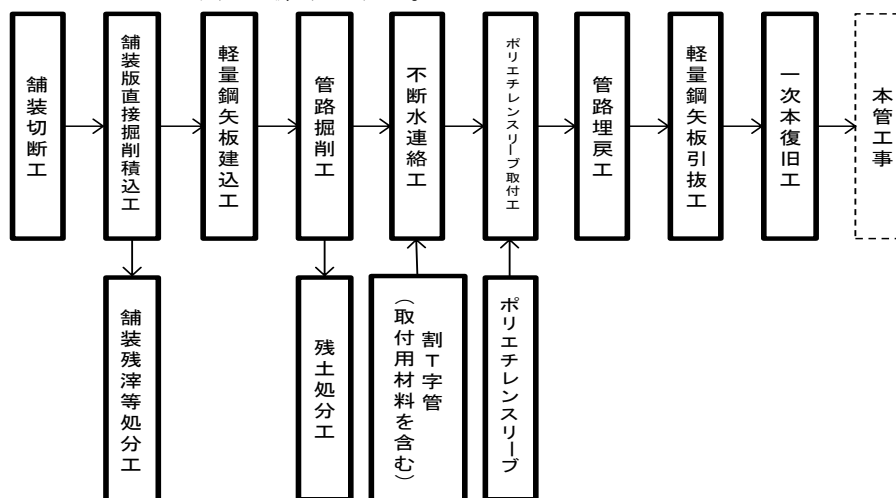
ア. 防食コア取付費については、割T字管取付穿孔工に含むものとする。なお、当該工事又は継続する工事の中で撤去が予定されているもので、一時的に使用する場合は防食コアの取付を省略することができる。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長2.0m、支保工1段を標準とする。

ウ. 割T字管のボルト口径は、本管口径φ150以下はM16、φ200・φ300・φ400はM20を標準とする。

エ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

オ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	4.05			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.32			—
管路掘削工		m ³	1.83	1.63	1.70	1.74
管路埋戻工	改良土	m ³	1.17	1.37	1.63	1.74
残土処分工		m ³	1.18	1.37	1.57	1.74
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.13	0.11	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.66	0.26	0.13	—
一次本復旧工		m ²	1.32			—
不断水連絡工		箇所	1			
割T字管取付材料	φ50分岐/φ40分岐	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.10			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.10			

(注) 1. 不断水連絡工については、「Ⅱ編第2章管工第1. 铸铁管布設（撤去）工(11). 管連絡工」不断水連絡歩掛表による。

キ．標準数量表（矢板あり）

（１箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	3.75			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.32			—
管路掘削工		m ³	2.27	2.29	2.36	2.40
管路埋戻工	改良土	m ³	1.61	2.03	2.29	2.40
残土処分工		m ³	1.61	2.03	2.23	2.40
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.13	0.11	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.66	0.26	0.13	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	3.75			
一次本復旧工		m ²	1.32			—
不断水連絡工		箇所	1			
割Ｔ字管取付材料	φ50 分岐/φ40 分岐	式	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.10			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.10			

（注）１．不断水連絡工については、「Ⅱ編第２章管工第１．铸铁管布設（撤去）工(11)．管連絡工」不断水連絡歩掛表による。

ク．標準材料表

（１箇所当り）

名称	単位	数量	
		φ40 分岐	φ50 分岐
割Ｔ字管（外ネジ型）	個	1	1
防食コア	個	1	1
ポリエチレン管金属継手（分・止水栓用ソケット１種）	個	1	1
亜鉛合金ナット M16	個	4	4
亜鉛合金ナット M20	個	9	9
残留塩素検査（DPD 試薬）	箇所	1	
給水管表示ピン	本	1	

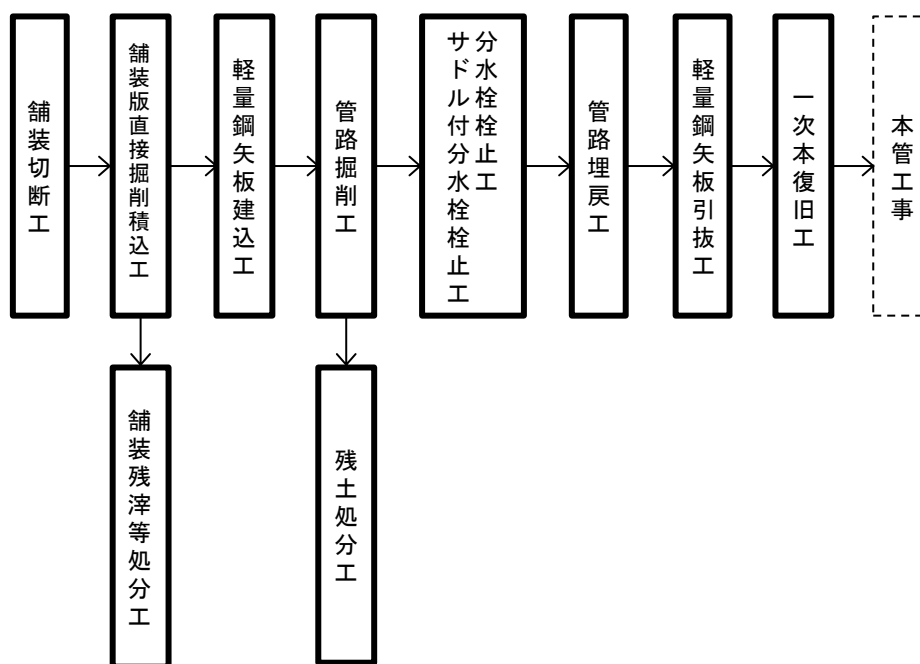
(17) 分水栓栓止工・サドル付分水栓栓止工

ア. 甲型分水栓及び耐震防食型分水栓を「分水栓栓止工」、铸铁管用・ビニル管用サドル付分水栓を「サドル付分水栓栓止工」に分類する。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。

ウ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表 (分水栓・矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.05			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.42			—
管路掘削工		m ³	0.44	0.32	0.34	0.35
管路埋戻工	改良土	m ³	0.23	0.24	0.32	0.35
残土処分工		m ³	0.23	0.24	0.30	0.35
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.21	0.08	0.04	—
一次本復旧工		m ²	0.42			—
分水栓栓止工		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70			

カ. 標準数量表（分水栓・矢板あり）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.05			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.51			—
管路掘削工		m ³	0.71	0.72	0.75	0.77
管路埋戻工	改良土	m ³	0.46	0.62	0.73	0.77
残土処分工		m ³	0.46	0.63	0.70	0.77
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.05	0.04	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.26	0.10	0.05	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	2.05			
一次本復旧工		m ²	0.51			—
分水栓栓止工		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.85			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.85			

キ. 標準数量表（サドル付分水栓・矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	1.95			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.39			—
管路掘削工		m ³	0.40	0.29	0.31	0.32
管路埋戻工	改良土	m ³	0.21	0.22	0.29	0.32
残土処分工		m ³	0.21	0.21	0.27	0.32
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.19	0.08	0.04	—
一次本復旧工		m ²	0.39			—
サドル付分水栓栓止工		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70			

ク. 標準数量表（サドル付分水栓・矢板あり）（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	1.95			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.47			—
管路掘削工		m ³	0.65	0.66	0.69	0.70
管路埋戻工	改良土	m ³	0.42	0.57	0.67	0.70
残土処分工		m ³	0.42	0.57	0.64	0.70
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.05	0.04	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.23	0.09	0.05	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 0.9	m	1.95			
一次本復旧工		m ²	0.47			—
サドル付分水栓栓止工		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.85			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.85			

ケ. 分水栓・サドル付分水栓栓止工 歩掛表（1箇所当り）

工種	規格	配管工（人）
分水栓栓止工		0.07
サドル付分水栓栓止工		0.05

(18) 割T字管撤去工

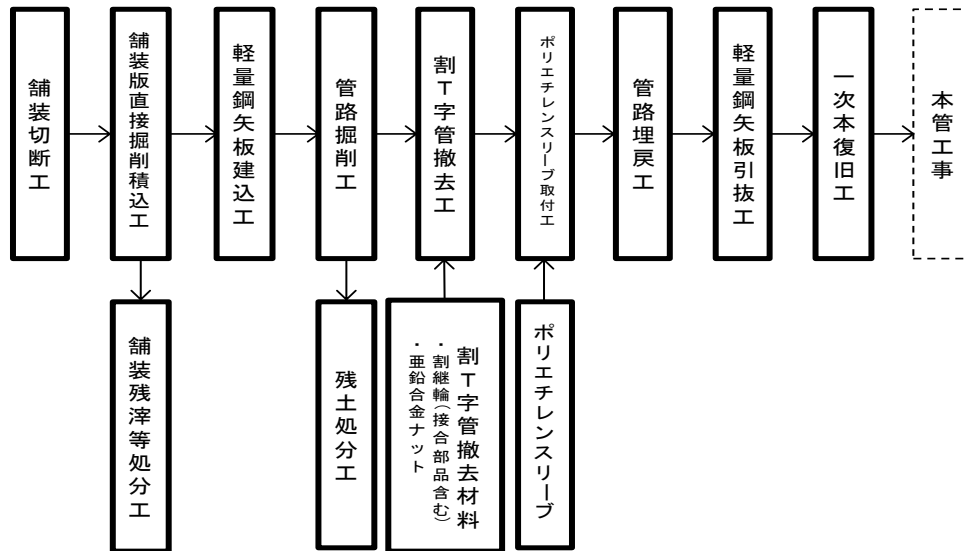
ア. 割T字管撤去工は、既設の割T字管を撤去し、割継輪を設置する工事に適用する。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長2.0m、支保工1段を標準とする。

ウ. 標準材料として、割継輪（接合部品含む）及び亜鉛合金ナットを含むものとする。

エ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

オ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表（矢板なし）

（1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	4.05			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.32			—
管路掘削工		m ³	1.78	1.41	1.48	1.52
管路埋戻工	改良土	m ³	1.12	1.15	1.41	1.52
残土処分工		m ³	1.12	1.15	1.35	1.52
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.13	0.11	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.66	0.26	0.13	—
一次本復旧工		m ²	1.32			—
割T字管撤去工（材工共）		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.20			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.20			

キ．標準数量表（矢板あり）

（１箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	3.75			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	1.32			—
管路掘削工		m ³	2.05	2.07	2.14	2.18
管路埋戻工	改良土	m ³	1.39	1.81	2.07	2.18
残土処分工		m ³	1.39	1.81	2.01	2.18
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.13	0.11	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.66	0.26	0.13	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 1.3	m	3.75			
一次本復旧工		m ²	1.32			—
割Ｔ字管撤去工（材工共）		箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.20			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.20			

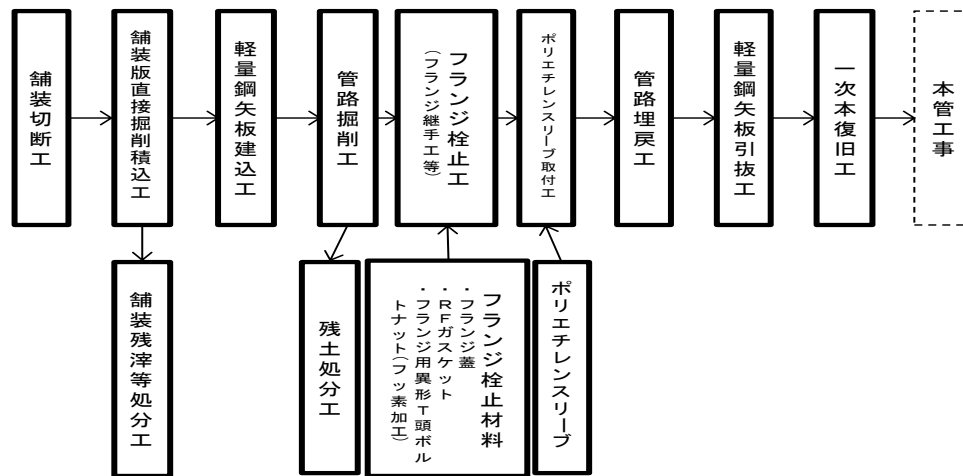
ク．割Ｔ字管撤去工（材工共）歩掛表

（１箇所当り）

口径 (mm)	労務費			材料費		
	配管工 (人)	普通作業員 (人)	諸雑費	割継輪 (個)	亜鉛合金ナット（個）	
					M16	M20
75	0.050	0.050	労務費 の１％	1	6	—
100				1	6	—
150	0.060	0.060		1	6	—
200	0.105	0.105		1	—	6
300	0.135	0.135		1	—	12
400	0.200	0.200		1	—	12

(19) フランジ栓止工【接合替】

- ア. フランジ栓止工【接合替】は、既設の割T字管（フランジ型／φ50 分岐）の分岐側におけるフランジ継手を離脱させ、フランジ蓋を設置する工事に適用する。
- イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長 2.0m、支保工 1 段を標準とする。
- ウ. 標準材料として、フランジ蓋、R F ガスケット、フランジ用異形 T 頭ボルトナット（M 16×75、フッ素加工）を含むものとする。
- エ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。
- オ. 施工フローは下記を標準とする。



- (注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。
2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表（矢板なし）

（1 箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.05			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.42			—
管路掘削工		m ³	0.49	0.37	0.39	0.41
管路埋戻工	改良土	m ³	0.28	0.29	0.38	0.41
残土処分工		m ³	0.28	0.30	0.36	0.41
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.21	0.08	0.04	—
一次本復旧工		m ²	0.42			—
フランジ栓止工（材工共）	φ50	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70			

キ. 標準数量表（矢板あり）

（１箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.05			—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	0.51			—
管路掘削工		m ³	0.71	0.72	0.75	0.77
管路埋戻工	改良土	m ³	0.46	0.62	0.73	0.77
残土処分工		m ³	0.46	0.63	0.70	0.77
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.05	0.04	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.26	0.10	0.05	—
矢板工（設置・撤去）	掘削幅 B ≤ 1.3	m	2.05			
一次本復旧工		m ²	0.51			—
フランジ栓止工（材工共）	φ 50	箇所	1			
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.85			
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.85			

（２０） パイプエンド設置工（材工共）【接合替】

ア. パイプエンド設置工（材工共）【接合替】は、既設給水管へ接続時にポリエチレン管（一次側）にパイプエンドを設置する工事に適用する。

イ. 管継手工については、「水道事業実務必携」ポリエチレン管布設歩掛表によるものとする。

ウ. 標準数量表

（１箇所当り）

工種／資材名称	単位	数量		
		φ 25	φ 40	φ 50
ポリエチレン管継手工【接合替】	口	1	1	1
ポリエチレン管金属継手 パイプエンド	個	1	1	1

(21) 仮管分岐工【～φ50】／仮管分岐設置撤去工【φ75～】

ア. 仮管分岐工【～φ50】／仮管分岐設置撤去工【φ75～】は、既設配水管より仮管用の分岐を設置し、本体工事の完成後に当該分岐を撤去する工事に適用する。

イ. 仮管分岐材料のうち、鋳鉄管材料、ボルトナット、ソフトシール仕切弁、弁室材料については、3回償却とする。また、当該部分の撤去については、仮設配管の再使用目的撤去を標準とする。

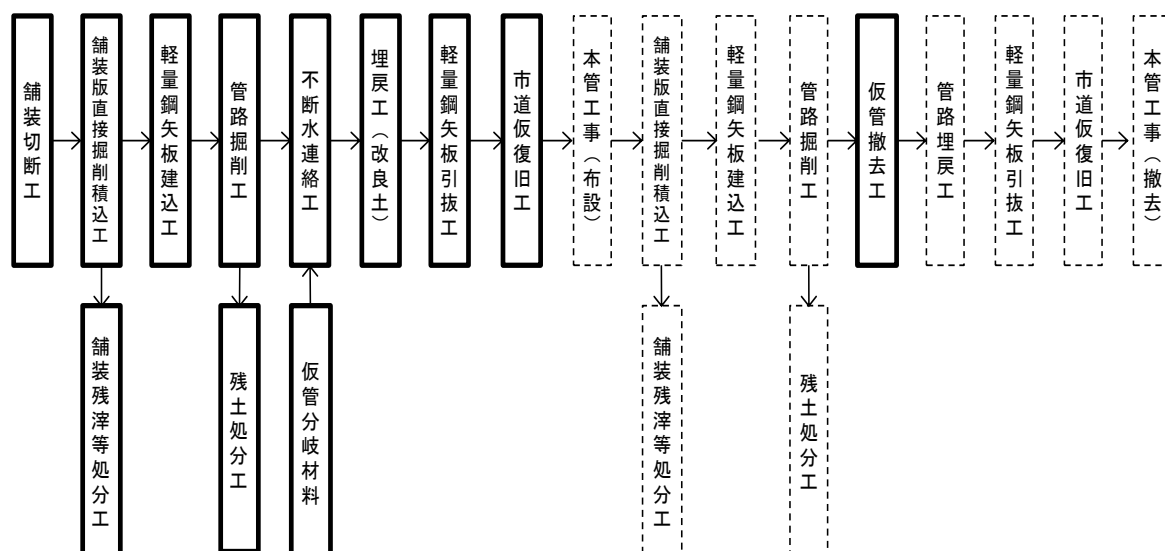
ウ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長2.0m、支保工1段を標準とする。

エ. 埋戻工は設置時に改良土を使用し、撤去時は当該改良土を流用するものとする。

オ. 不断水連絡工において、防食コアは計上しないものとする。

カ. 分岐口径がφ75以上については、GF加工を行うこととする。

キ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

ク. 標準掘削寸法表

配水管 口径 (mm)	掘削幅 (m)	掘削延長 (m)		掘削深 (m)	
		～φ50分岐	φ75以上分岐	矢板なし	矢板あり
75	1.10	1.10	1.30	1.24	1.64
100	1.10	1.10	1.30	1.27	1.67
125	1.10	1.10	1.30	1.29	1.69
150	1.10	1.10	1.30	1.32	1.72
200	1.10	1.10	1.30	1.37	1.77
300	1.10	1.10	1.30	1.47	1.87

ケ．標準数量表

(1 箇所当り)

工種名称	単位	数量	
		φ 40・φ 50	φ 75以上
舗装切断工	m	(掘削幅＋掘削延長)×2	
舗装版直接掘削積込工	m ²	掘削幅×掘削延長	
管路掘削工	m ³	掘削幅×掘削延長×(掘削深 ^{※1} －既設舗装版厚)	
管路埋戻工	m ³	掘削幅×掘削延長×(掘削深 ^{※1} －仮復旧厚)	
残土処分工	m ³	掘削幅×掘削延長×(掘削深 ^{※1} －既設舗装厚)	
舗装残滓等処分工 (As)	m ³	掘削幅×掘削延長×既設舗装版厚	
舗装残滓等処分工 (路盤廃材)	m ³	掘削幅×掘削延長×既設路盤厚	
市道仮復旧工	m ²	掘削幅×掘削延長	
矢板工 (設置・撤去) ^{※2 ※4}	m	(掘削幅＋掘削延長)×2	
仮管分岐材料	式	1	
不断水連絡工 (材工共)	箇所	1	
弁室類築造工 (設置・撤去)	箇所	—	1
仮管撤去工 (铸铁管)	m	—	※3

※1 掘削深は土被に管外径を加算したものとする。

※2 矢板工は掘削深が1.50mを超える場合に計上する。

※3 φ75：0.36、φ100：0.37、φ150：0.40とする。

※4 矢板工を計上する場合の支保工は(掘削幅 B ≤ 1.3) とする。

(注) 各工種の計算結果は、小数第2位までとし第3位四捨五入とする。

コ．標準材料表 (φ 40分岐・φ 50分岐)

(1 箇所当り)

資材名称	形式寸法	単位	数量	
			φ 40	φ 50
ビニル管用ユニオンナット		個	1	1
S ベンド	HIVP	個	1	1
ソフトシール止水栓		個	1	1
止水栓用伸縮継手	40	個	2	—
ビニル管用伸縮継手	50	個	—	2
ソケット	HIVP	個	2	2
止水栓ボックス	150	個	1	1
止水栓ボックス (継足用)	150	個	1	1
残留塩素検査	DPD 試薬	箇所	1	1

サ. 標準材料表 (φ75分岐・φ100分岐・φ150分岐)

(1箇所当り)

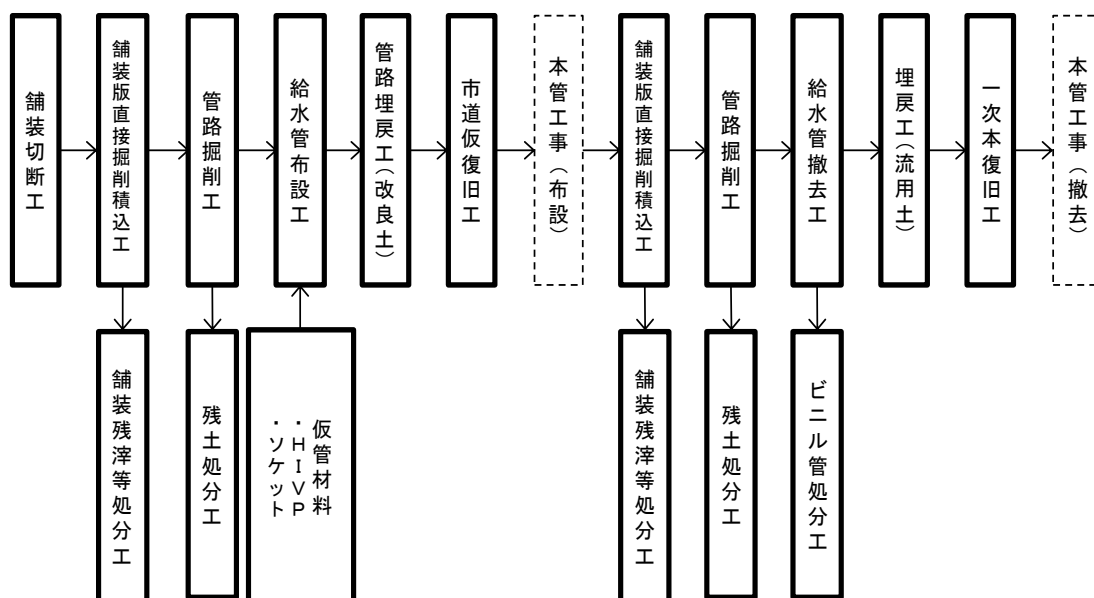
資材名称	単位	数量			備考
		φ75	φ100	φ150	
ソフトシール仕切弁 (浅層埋設用)	個	1			3回償却
DK短管1号 GF形	個	1			3回償却
VCソケット	個	1			
K(A)押輪	個	1			3回償却
K ゴム輪	個	1			
GF ガスケット	個	2			
T頭ボルトナット (K・KF形用)	本	4	4	6	3回償却
フランジ用異形T頭ボルトナット (仮管用)	本	8	8	12	3回償却
制水弁鉄蓋	個	1			3回償却
調整リング50mm	個	2			3回償却
調整リング100mm	個	1			3回償却
レジンコンクリート上下部壁 (CA)	個	1			3回償却
レジンコンクリート底版 (P)	個	1			3回償却
残留塩素検査 (DPD試薬)	箇所	1			

(22) 仮管布設撤去工

ア. 仮管布設撤去工は、仮管を布設し、本体工事完成後に当該仮管を撤去する工事に適用する。

イ. 埋戻工は設置時に改良土を使用し、撤去時は当該改良土を流用するものとする。

ウ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

エ. 標準数量表 (車道部)

(10m当り)

工種名称	単位	数量					
		φ 25	φ 40	φ 50	φ 75	φ 100	φ 150
舗装切断工	m	20.00					
舗装版直接掘削積込工	m ²	11.00					
管路掘削工	m ³	2.59	2.59	2.59	3.29	3.47	3.84
管路埋戻工 (改良土)	m ³	0.28	0.28	0.28	0.70	0.80	1.02
管路埋戻工 (発生土)	m ³	0.11	0.11	0.11	0.39	0.47	0.67
残土処分工	m ³	0.28	0.28	0.28	0.70	0.80	1.02
舗装残滓等処分工 (As)	m ³	0.72					
舗装残滓等処分工 (路盤廃材)	m ³	2.20					
市道仮復旧工	m ²	5.50					
一次本復旧工	m ²	5.50					
給水管布設工	m	10.00					
給水管撤去工	m	10.00					
給水管材料	m	10.00					

オ. 標準数量表 (歩道部)

(10m当り)

工種名称	単位	数量					
		φ 25	φ 40	φ 50	φ 75	φ 100	φ 150
舗装切断工	m	20.00					
舗装版直接掘削積込工	m ²	11.00					
管路掘削工	m ³	2.97	2.97	2.97	3.67	3.86	4.22
管路埋戻工 (改良土)	m ³	1.49	1.49	1.49	1.91	2.01	2.18
管路埋戻工 (発生土)	m ³	1.21	1.21	1.21	1.48	1.57	1.76
残土処分工	m ³	1.21	1.21	1.21	1.64	1.74	1.91
舗装残滓等処分工 (As)	m ³	0.33					
舗装残滓等処分工 (路盤廃材)	m ³	0.55					
市道仮復旧工	m ²	5.50					
一次本復旧工	m ²	5.50					
給水管布設工	m	10.00					
給水管撤去工	m	10.00					
給水管材料	m	10.00					

給水管布設工 (ビニル管)

(10m当り)

工種名称	形質寸法	単位	数量
硬質塩化ビニル管 据付工		m	10.00
硬質塩化ビニル管 T S継手工		箇所	20.00
硬質塩化ビニル管 切断工		口	10.00

※ T S継手工 2箇所につき、1口計上する。

給水管撤去工（ビニル管）

（10m当り）

工種名称	形質寸法	単位	数量
硬質塩化ビニル管布設 据付工		m	6.00
硬質塩化ビニル管切断（既設管撤去）		口	1.67
ビニル管等処分工（運搬費含む）	ビニル管	m	10.00

備考．切断数量は6 m当り 1 箇所を標準とする。

カ．標準材料表

（1 m当り）

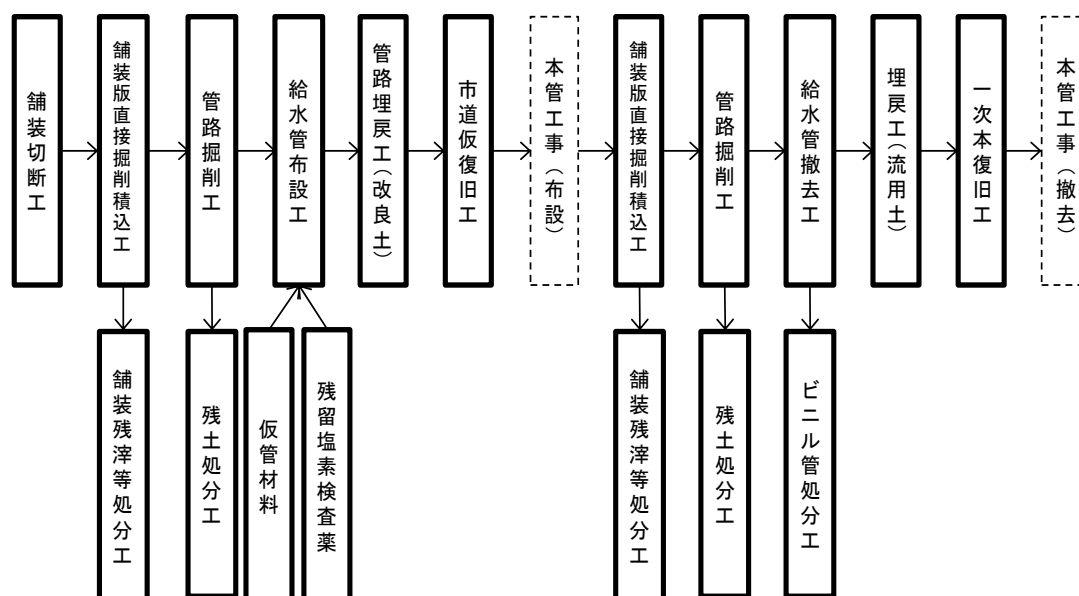
ビニル管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管：1 m H I ビニルソケット：1 個
------	---------------------------------------

（23） 仮接合替工

ア．仮接合替工は、仮管布設撤去工により設置した仮管から給水管を分岐させ、既設の給水管に接続する工事に適用する。

イ．埋戻工は設置時に改良土を使用し、撤去時は当該改良土を流用するものとする。

ウ．施工フローは下記を標準とする。



（注）1．本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2．その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

エ. 標準数量表（仮接合替工）

（１箇所当り）

工種名称	形質寸法	単位	数量	
			車道	歩道
舗装切断工	アスファルト	m	1.65	
舗装版直接掘削積込工		m ²	0.61	
管路掘削工		m ³	0.14	0.16
管路埋戻工	改良土	m ³	0.02	0.08
管路埋戻工	発生土	m ³	0.01	0.07
残土処分工		m ³	0.02	0.07
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.04	0.02
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.12	0.03
市道仮復旧工		m ²	0.30	
一次本復旧工		m ²	0.30	
給水管布設工	材工共	箇所	1	
給水管撤去工		箇所	1	
ビニル管処分工		m	0.55	
残留塩素検査	DPD試薬	箇所	1	

オ. 標準数量表（給水管布設工）

（１箇所当り）

工種名称	形質寸法	単位	数量
硬質塩化ビニル管 据付工	φ 25	m	0.55
硬質塩化ビニル管 T S継手工	φ 40	口	2
硬質塩化ビニル管 T S継手工	φ 25	口	5
硬質塩化ビニル管 切断工	φ 25	口	2
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	φ 25 材料費	m	0.55
H I エルボ	φ 25 材料費	個	2
H I チーズ	φ 40×25 材料費	個	1
ビニル管用修繕金具	φ 25 材料費	個	1

カ. 標準数量表（給水管撤去工）

（１箇所当り）

工種名称	形質寸法	単位	数量
硬質塩化ビニル管布設 据付工	φ 25	m	0.33
硬質塩化ビニル管切断（既設管撤去）	φ 25	口	1

(24) 仮管消火栓設置撤去工

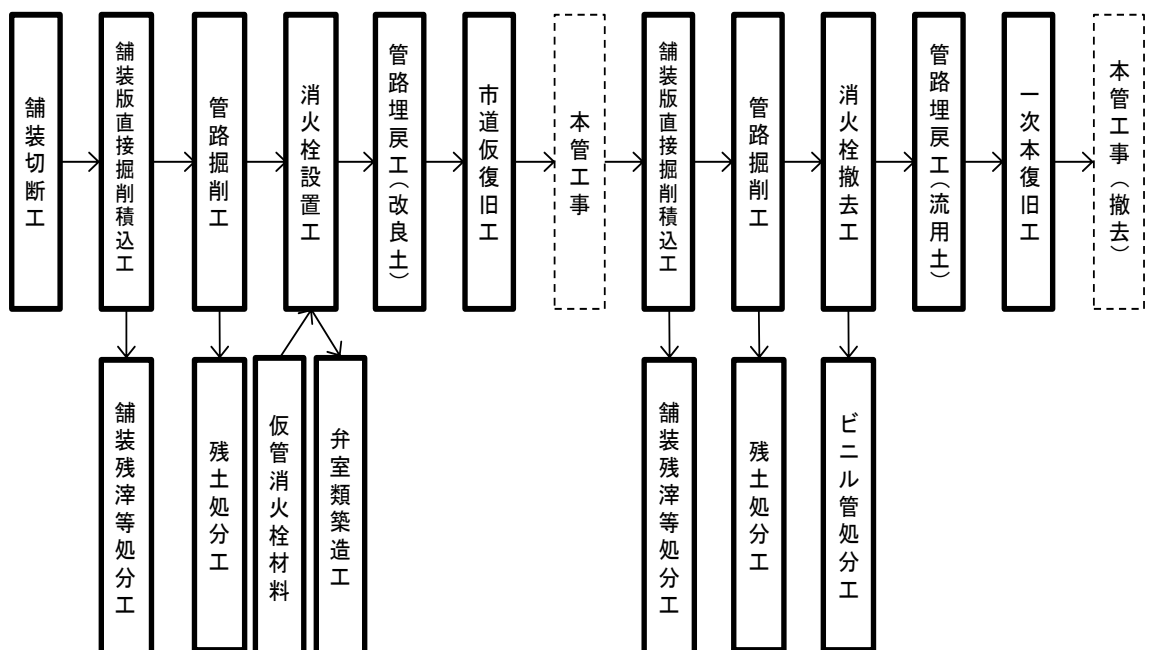
ア. 仮管消火栓設置撤去工は、仮管部に仮消火栓を設置し、本体工事完成後に当該仮消火栓を撤去する工事に適用する。

イ. 仮管消火栓材料のうち、鋳鉄管材料、ボルトナット、消火栓、弁室材料については、3回償却とする。また、当該部分の撤去については、仮設配管の再使用目的撤去を標準とする。

ウ. 仮消火栓の鉄蓋及び弁室については、それぞれ円形鉄蓋、レジンコンクリートブロックを標準とする。

エ. 埋戻工は設置時に改良土を使用し、撤去時は当該改良土を流用するものとする。

オ. 施工フローは下記を標準とする。



(注) 1. 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2. その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表

(1 箇所当り)

工種名称	形質寸法	単位	数量	
			車道	歩道
舗装切断工	アスファルト	m	3.32	
舗装版直接掘削積込工		m ²	1.83	
管路掘削工		m ³	1.21	1.27
管路埋戻工	改良土	m ³	0.50	0.70
管路埋戻工	発生土	m ³	0.34	0.52
残土処分工		m ³	0.50	0.66
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.12	0.05
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.37	0.09
市道仮復旧工		m ²	0.91	
弁室類築造工	設置・撤去	箇所	1	
仮管撤去工（铸铁管）	再使用あり	m	※ 1	
一次本復旧工		m ²	0.91	
K形継手工		箇所	2	
K S 形継手工		箇所	1	
消火栓設置工	設置・撤去	箇所	1	
仮ビニル管布設工		m	1.00	
铸铁管据付工		m	※ 1	
給水管撤去工	ビニル管	m	1.00	
仮管消火栓材料		箇所	1	

※ 1 $\phi 75 : 0.63$ 、 $\phi 100 : 0.66$ 、 $\phi 150 : 0.69$ とする。

(注) 1. 仮ビニル管布設工については、本章第 1. 3 (2 3) オ. 標準数量表（給水管布設工）による。

2. 給水管撤去工については、本章第 1. 3 (2 3) カ. 標準数量表（給水管撤去）による。

キ. 標準材料表

(1箇所当り)

資材名称	単位	数量			備考
		φ 75	φ 100	φ 150	
消火栓 (単口)	個	1			3回償却
T頭ボルトナットフランジ用異形 (仮管用)	本	4			3回償却
G F ガスケット	個	1			
円形消火栓鉄蓋 (単口)	個	1			3回償却
円形鉄蓋用ボルトナット	組	1			3回償却
調整リング	個	2			3回償却
レジンコンクリート上部壁 (A)	個	1			3回償却
レジンコンクリート下部壁 (C)	個	1			3回償却
レジンコンクリート底版 (P)	個	1			3回償却
V C ソケット	個	2	2	2	
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	m	1	1	1	
D K 継輪	個	1	1	1	3回償却
D K 浅層埋設形フランジ付T字管 G F 形	個	1	1	1	3回償却
T頭ボルトナット (K・K F 形用) ※ ¹	本	12	12	18	3回償却
K ゴム輪	個	3	3	3	
K (A) 押輪	個	2	2	2	3回償却
K 離脱防止押輪	個	1	1	1	3回償却

※¹ φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150 : M20×100とする。

(注) 1. 弁室類築造使用材料については、「土木工事共通仕様書」(標準図集) 参照

(注) 2. 備考欄に3回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の1/3とする。

(25) 仮管排水栓止設置撤去工

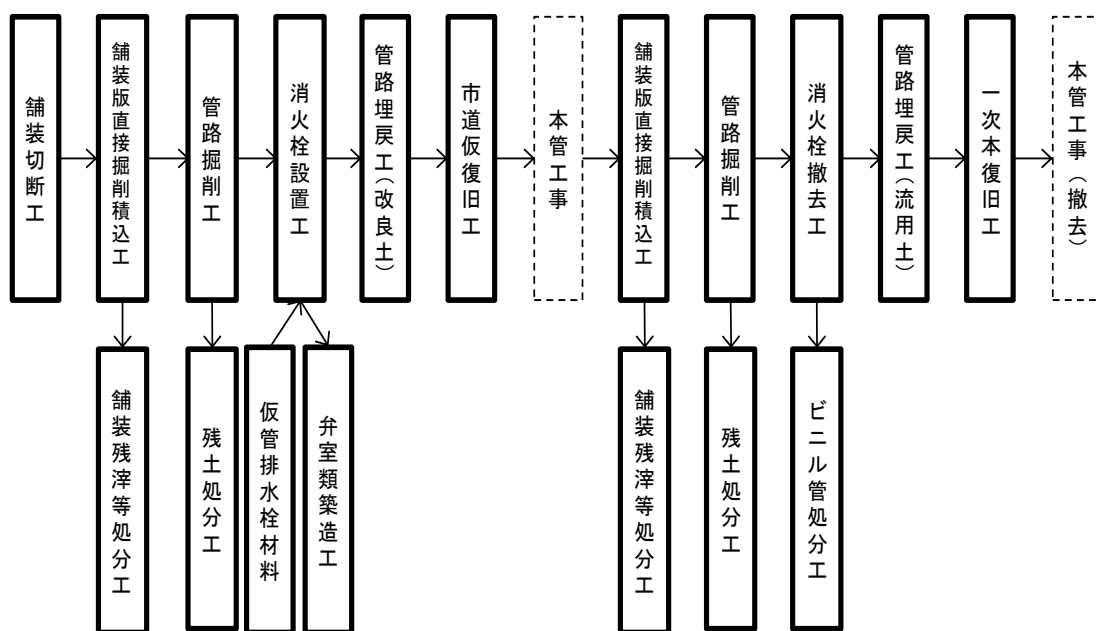
ア. 仮管排水栓止設置撤去工は、仮管部に仮排水栓を設置し、本体工事完成後に当該仮排水栓を撤去する工事に適用する。

イ. 仮管排水栓材料のうち、鑄鉄管材料、ボルトナット、消火栓、弁室材料については、3回償却とする。また、当該部分の撤去は、仮設配管の再使用目的撤去を標準とする。

ウ. 仮排水栓の弁室については、レジンコンクリートブロックを標準とする。

エ. 埋戻工は、設置時に改良土を使用し、撤去時に当該改良土を流用するものとする。

オ．施工フローは下記を標準とする。



(注) 1．本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

2．その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ．標準数量表

(1箇所当り)

工種名称	形質寸法	単位	数量	
			車道	歩道
舗装切断工	アスファルト	m	2.32	
舗装版直接掘削積込工		m ²	1.28	
管路掘削工		m ³	0.84	0.89
管路埋戻工	改良土	m ³	0.35	0.49
管路埋戻工	発生土	m ³	0.24	0.36
残土処分工		m ³	0.35	0.46
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.08	0.04
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	0.26	0.06
市道仮復旧工		m ²	0.64	
弁室構築造工	設置・撤去	箇所	1	
仮管撤去工(鉄管)	再使用あり	m	※1	
一次本復旧工		m ²	0.64	
K形継手工		箇所	2	
K S形継手工		箇所	1	
消火栓設置工	設置・撤去	箇所	1	
仮ビニル管布設工		m	0.50	
鉄管据付工		m	※1	
給水管撤去工	ビニル管	m	0.50	
仮管排水栓材料		箇所	1	

※1 φ75 : 0.63、φ100 : 0.66、φ150 : 0.69とする。

(注) 1．仮ビニル管布設工については、本章第1.3(23)オ．標準数量表(給水管布設工)による。

2．給水管撤去工については、本章第1.3(23)カ．標準数量表(給水管撤去)による。

キ. 標準材料表

(1 箇所当り)

資材名称	単位	数量			備考
		φ 75	φ 100	φ 150	
消火栓 (単口)	個	1			3回償却
T 頭ボルトナットフランジ用異形 (仮管用)	本	4			3回償却
G F ガスケット	個	1			
排水栓鉄蓋	個	1			3回償却
調整リング	個	2			3回償却
レジンコンクリート上部壁 (A)	個	1			3回償却
レジンコンクリート下部壁 (C)	個	1			3回償却
レジンコンクリート底版 (P)	個	1			3回償却
V C ソケット	個	1	1	1	
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	m	0.50	0.50	0.50	
D K 継輪	個	1	1	1	3回償却
D K 浅層埋設形フランジ付 T 字管 G F 形	個	1	1	1	3回償却
T 頭ボルトナット (K・K F 形用) ※ ¹	本	12	12	18	3回償却
K ゴム輪	個	3	3	3	
K (A) 押輪	個	1	1	1	3回償却
K 離脱防止押輪	個	1	1	1	3回償却
D K 栓	個	1	1	1	3回償却

※¹ φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150 : M20×100とする。

(注) 1. 弁室類築造使用材料については、「土木工事共通仕様書」(類標準図集) 参照

(注) 1. 備考欄に 3 回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の 1 / 3 とする。

(26) 試験掘工

ア. 試験掘工は「Ⅰ編第1章請負工事積算概要 第2. 工事費の積算 2. 間接工事費

(6) 準備費」のとおり、事前の地下埋設物調査のための試験掘工事に適用する。

イ. 埋戻工は改良土使用を標準とする。

ウ. 矢板工の計上が必要となる場合は、軽量鋼矢板Ⅰ型、矢板長2.0m、支保工1段を標準とする。

エ. 標準数量表（残土指定地処分）

(1箇所当り)

工種名称	単位	幹線道路		一般道路		歩道		未舗装	
		矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり
舗装切断工	m	4.70	5.30	4.70	5.30	4.70	5.30	-	-
舗装版破碎（障害有り）	m ²	1.24	1.48	1.24	1.48	1.24	1.48	-	-
人力掘削工	m ³	1.24	2.07	0.89	2.10	0.95	2.18	0.99	2.22
残土処分工	m ³	0.62	1.33	0.64	1.80	0.83	2.03	0.99	2.22
管路埋戻工	m ³	0.62	1.33	0.64	1.81	0.89	2.10	0.99	2.22
舗装残滓等処分工 （アスファルト）	m ³	0.12	0.15	0.10	0.12	0.04	0.04	-	-
舗装残滓等処分工 （路盤廃材）	m ³	0.62	0.74	0.25	0.30	0.12	0.15	-	-
矢板工（設置・撤去）	m	-	5.30	-	5.30	-	5.30	-	5.30
一次本復旧工	m ²	1.24	1.48	1.24	1.48	1.24	1.48	-	-

オ. 標準数量表（残土自由処分）

(1箇所当り)

工種名称	単位	幹線道路		一般道路		歩道		未舗装	
		矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり	矢板なし	矢板あり
舗装切断工	m	4.70	5.30	4.70	5.30	4.70	5.30	-	-
舗装版破碎（障害有り）	m ²	1.24	1.48	1.24	1.48	1.24	1.48	-	-
人力掘削工	m ³	1.24	2.07	0.89	2.10	0.95	2.18	0.99	2.22
管路埋戻工	m ³	0.62	1.33	0.64	1.81	0.89	2.10	0.99	2.22
舗装残滓等処分工 （アスファルト）	m ³	0.12	0.15	0.10	0.12	0.04	0.04	-	-
舗装残滓等処分工 （路盤廃材）	m ³	0.62	0.74	0.25	0.30	0.12	0.15	-	-
矢板工（設置・撤去）	m	-	5.30	-	5.30	-	5.30	-	5.30
一次本復旧工	m ²	1.24	1.48	1.24	1.48	1.24	1.48	-	-

※残土運搬費及び残土処分費については、別途計上すること。